

商 況

販賣旬報 第 116 號 (其 1) 昭和 5 年 1 月 21 日 製鐵所販賣部

場相は何處まで下る (其の 4)

4、引合點と過去の探索 扱て愈々吾人は本論の解決に對する理論的基礎として、彼等の引合點如何を探求せればならぬ時に遭遇してゐる。が然し既に前に述べた所に依つて知り得る如く、引合點を決定する算式

$$(\text{國內向販賣數量} \times \text{國內相場}) + (\text{輸出向販賣數量} \times \text{輸出相場}) = (\text{全生産量} \times \text{生産費})$$

中に幾多の可動的ファクターが包含されてゐる。もとより其が單に輸出向のみの引合點に關する限りに於てならば其は生産費の發見に依つて容易に知ることが出来るであらう。即ち棒鋼噸當り生産費佛、白の約 5-12-0、(但現在の爲替を以て換算) 獨の約 6-1-0 は又直ちに各自の利益限界點を指示するものでもある。然るに問題は國內向、輸出向の全販賣數量を包括しての利益採算である。何故かならば彼等の考慮する所は只 總賣上金額 - 總經費 = 總利益なる算式の右邊の可及的増大にあるので、其の向先の如きは問題でない。故に此の意味に於ての輸出相場の引合點は國內相場並に國內向、輸出向販賣數量の全販賣數量中に於て占むる比率如何に従つて常に浮動するを免れぬは當然、所詮答を求むべき手だてではない。

國內市場活況を呈し、賣行増加につれて相場の漸騰するあれば、投賣能力も正比例的に増大するであらうし、又其の萎微は此と反對の結果を招來するの道理であらう。

然し豫め杜撰の譏りを覺悟して、此等のファクターに假定的數値を代入し、一應の結論を出して見るのも強ち無用の業でもあるまい。而して此の試みを相當効果あらしめてくれるものは何と云つても獨乙である。第一に獨乙の國內相場は此處 1、2 年間全く變動がない。第二に獨乙の棒鋼組合は組合員の割當を輸出向及國內向に分割して、兩者の比率を夫々 25 % と 75 % に定めてあることだ。若し此の條件にして固く守られるとするならば引合點は次式によつて求められる。

全販賣數量	A
國內相場	141 麻克(其の二に掲載)
生産費	123 麻克(其の一に掲載)
輸出相場	x 麻克
$\left(A \times \frac{75}{100} \times 141 \right) + \left(A \times \frac{25}{100} \times x \right) = A \cdot 123$	
$\therefore x = 69 \text{ 麻克}$	

69 麻克は今の相場で約 3-10-0、何と驚く可きではあるまいか。勿論此の計算は國內市場好況を傳へて豫定通り生産の 75 % を消化し得た時のこと、常にそうもゆくまいし、超過生産乃至輸出に對して國際鋼塊組合へ支拂ふ獨乙の罰金は毎年噸當り 2 麻克以上に達してゐる。然し幸か不幸か、此の數字はあながち事實と懸け離れた空なものでもない。過去の事實が此の驚く可き事實の忠實なる證人となるであらう。

最近の實例として 1927 年の鐵鋼界は世界的の不況裡に終止し、殊に佛蘭西、白耳義の決死的投賣は棒鋼底値 4-13-0、を告げて、大凡 4 磅臺に止まつたに拘らず、獨り獨乙は造船界機械工業を始め一般經濟界の異常なる活況に國內市場の消化目醒しく實に其の 75 % を振り向け得て、相次いで發表された大會社の貸借對照表は、總て多額の利益を計上した。今一例を擧げれば

右に依つて甚だ粗雑ながら獨乙の投賣能力乃至引合點を推測し得ることが出来るであらう。

	配當率(但上半期)
Vereinigte Stahl Werke A. G.	6 %
Gelsenkirchen Co.	4 %
Eisen und Stahlwerke Hoesch	8 %
Koeln Neussen Bergwerkverein	9 %

然し誰しも殊更に安くして物を賣らうなど、殊勝な考へを起すものは藥にしたくもありやしない。金が敵の世の中だ願はくは高く賣り度い、儲け度いのだ。かるが故に獨乙の引合點の低いことは國內市場が好況なる限り左程問題ではないだらう。さりとて國內市場が不況ならば引合點は高くなる。

そこで實際問題としては事實過去に於て經驗された最低相場が何うして生れたのか。又そうした状態は將して將來にも繰り返され得るかどうかを見た方が實際に則した捷徑かも知れない。此の意味に於て一應 1926、7 年兩年の輸出

相場を解剖を試みることにする。

前々號掲載(其の二)の表を見ると 1926 年の佛、白の輸出相場は 5-13-9 を最高、4-13-0 を最低として一見甚だ鐵鋼界の不況を物語つてゐる様であるが、事實は是と反對に此の年こそ佛、白の殷盛を極めし黄金時代で、歐洲戦後に於ける兩國の世界市場への躍進が確保されたのも此の時である。何故か? 其は法貨の大崩落に依る輸出の激増である。1925 年の半頃より突發した法貨の暴落は 1926 年に入つて愈々甚しく、7 月には其の極度に達して、1 磅 204 法を唱え、實に戦前の 1/2 同年 1 月に比しても既に 60 % の急落であつた。

下に對英爲替相場の變動と當時の棒鋼輸出相場の法貨換算を掲げるならば、其の生産費 672 法(現在の對英爲替相場にて 5-12-0)に對して如何に多額の利益を獲得してゐるかを知らることが出來やう。

區分/年月別	1926年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	生産費
輸出値段 f.o.b	5-6-6	5-6-0	5-4-0	5-0-6	4-18-6	4-14-6	4-13-6	4-18-3	5-4-0	5-13-9	5-13-9	5-12-0	
英佛爲替 1 磅に付	130	133	140	146.5	149.5	173	204	170	173	158.5	139.5	122.5	
輸出値段 法貨換算	692	705	728	737	736	817	954	835	900	901	788	686	672
同英貨換但し 現在英佛爲替 1 磅に付 124 法	5-11-6	5-13-9	5-17-6	5-18-9	5-18-9	6-11-9	7-13-9	6-14-9	7-5-0	7-5-6	6-7-0	5-10-9	5-12-0

備考 當時の相場を現在の英佛爲替相場 1 磅に付 124 法にて換算したるものなり即ち法貨崩落の影響を度外視した場合の當時の輸出相場を示す。

3、4 月積先物賣出概況一申込益々激減

1、舊臘中メ切つた 3、4 月積定期先物の概況は下表に現はれた通り今迄殆んど經驗せざるほど悲惨なものであつた鋼條の定期は許容されたる數量半減を利用すること誠に吝であつて悠々と 1 萬噸を突破して居るが、流石に先物の申込數量は先月に比し 5,000 噸の減少を見るに至つた。

2、各工場共轡を並べて没落する中に獨り前月より増加と云ふ異彩を放つものに二中がある。寸法別の契約高を見ぬ故判然とは云へぬが恐らく溝形の好調が此結果を招致したのではあるまいか、12 月渡に 4 萬 1,000 噸と云ふ榮華の夢に酔ふた鋼板は未だ半歳も経ざるに其 1/10 だに充たぬ 3,200 噸と云ふ哀れさである。

3、4 月積先物賣行概況 (單位噸) 備考、二種定期は含まず。

工場名	先物賣出噸數	線材	申込噸數								計	申込噸數						
			一、小	二、形	三、小形	一、中形	二、中形	四、型鋼	一、大形	二、大形		三、形	軌條	總噸數	内譯			
			300	1,500	2,000	400	1,000	1,200	1,000	2,500		—			9,900	東京	大阪	名古屋
先物部	條鋼	82	—	208	—	311	—	—	—	—	—	—	601	500	290	185	8	17
	丸角	—	104	—	54	34	—	—	—	—	—	—	192	197	89	80	2	26
	平鋼	—	240	—	317	—	—	—	—	—	—	—	557	537	168	240	6	123
	等山	—	30	12	—	124	111	—	565	—	—	—	842	736	368	340	4	24
	不等	—	—	—	80	10	53	—	80	—	—	—	223	325	40	280	5	—
	溝工	—	—	—	—	114	—	—	190	—	586	—	890	903	225	635	19	24
	先物計	82	374	220	451	593	164	586	1,000	—	3,470	3,403	1,250	1,895	44	214	—	—
工場部	鋼板部								鋸力板部		黑板部		線材部					
	區分	先物賣出噸數	引受噸數	申込噸數				區分	市場	實需	賣出噸數	1,500	品種	製材				
				内譯											種	向	向	區分
	東京	大阪	名古屋	其他	賣出噸數	900	600	申込噸數	1,500	賣出噸數	2,100	3,100						
	厚板	700	904	868	348	30	136	354	申込噸數	967	600	申込噸數	1,500	賣出噸數	2,100	3,100		
一中板	500	500	1,123	668	168	110	177	100lbs	353	200	申込噸數	1,500	賣出噸數	2,335	3,100			
二中板	700	892	1,224	677	173	65	309	170lbs	531	200	引受噸數	1,500	賣出噸數	2,100	3,100			
先物計	1,900	2,296	3,215	1,693	371	311	840	Oil size 計	16	200	引受噸數	1,500	賣出噸數	2,100	3,100			

定期之部	工場名		線材	小形	三小形	中形	二形	四型鋼	一大形	二、三形	軌條	計	鋼板ノ部	區名		定尺	耳付	計					
	品種	品種												工場分	厚板								
定期之部	條鋼ノ部	鋼	345	—	2,403	—	365	—	—	—	—	3,113	ノ部	計	—	—	—	—					
		丸角	—	376	—	80	65	—	—	—	—	521							厚板	—	5,732	5,732	
		鋼	—	639	—	485	—	—	—	—	—	1,124							一中板	615	838	1,453	
		鋼	—	165	623	—	296	260	40	960	—	2,344							二中板	745	—	745	
		山	—	—	—	105	5	95	—	273	—	478							計	1,360	6,570	7,930	
		山	—	—	—	—	220	—	—	766	—	2,367											
		形	—	—	—	—	—	—	—	699	—	719							計	1,360	6,570	7,930	
		工	—	—	—	—	—	—	—	20	—	—							—	—	—	—	—
		定期計	345	1,180	3,026	670	951	355	1,441	2,698	—	—							10,666	—	—	—	—

12月と昭和3年中の3港輸入

(1) 12月の輸入は豫想に反して棒型鋼共前月より増加して居る、悲境のドン底を彷徨して居る丸鋼が2,000 吨以上の数字を現はしたのは内地の丸鋼 3 割減産の聲と對比して誠に皮肉ではあるまいか。また鋼板(0.7 耗超)の好調が刺戟した假需要の結果である處の該品の輸入數量は豫期通り益々増加して遂に6,000 吨臺を見るに至つた。前車が幾度か覆つても後車が根氣よく其轍を踏むのが此輸入と云ふ眞に恐るべき魔物である。

鋼板(0.7 耗以下)と線材の輸入は激減の跡を辿りながら内地の市況は聊かも恵まれない、其原因は前月書いた通り製品安と無謀な輸入の祟りと思はれる。

(2) 翻て昭和3年中の三港輸入と昭和4年のそれとを比較して見ると昭和4年は76,000 餘吨の減少である。し其内容に就て見るに棒型鋼は概括して増加の傾向を辿り實に4 萬吨以上の増加となつた、其内特に甚だしいものは前年の好調のリアクションに依る丸鋼と、暫く振りに恵まれた工形鋼で現在は共に悲鳴を擧げて居るものである。

鋼板(0.7 耗超)は8,000 吨の増加でこれは4 月以後の好況が齎した産物である、其他鉄力、シートパイル、鋼管は共に増加したのである、然らば總計の8 萬吨に近い減少の原因は何處にあるかと云へば、それは正に前年に比し12 萬吨以上の激減と云ふ驚異的数字を示した鋼板(0.7 耗以下)なのである、此高價なる品種に於て此輸入減少を招來して貿易改善に盡した功績は内地メーカー特に其主力たる川崎造船所の増産の賜である。軌條も亦1 萬吨以上の減少である、昭和4年の數量と昭和2年の8 萬2,796 吨とを比する時は如何に外註防遏に努力したかを窺はれよう。

(3) 要するに昭和4年の輸入は總括的には減少とはなつたが主要なる鋼材は前年に於ける輸入の減少による好調の反動の波に乗り遂に増加のカーブを畫くことゝなつたのである。

昭和4年12月中3港鋼材輸入數量表 單位吨

品種	區分	神戸	大阪	横濱	12月計	前月計	本年總計	昭和3年總計(増減)
丸	鋼	1,174	379	614	2,167	1,387	62,314	38,208 (31,106)
角	鋼	152	1	49	202	151	6,034	5,076 (958)
平	鋼	572	—	965	1,537	579	15,965	15,372 (593)
等	山	644	261	411	1,316	692	17,911	16,560 (1,351)
不	等	101	52	177	330	414	4,609	2,712 (1,897)
溝	形	110	62	193	365	815	9,624	8,340 (1,284)
工	形	414	769	1,728	2,911	2,874	23,325	12,660 (10,665)
鋼板(0.7m/m超)		4,080	805	1,283	6,168	4,906	49,694	41,592 (8,102)
"(0.7m/m以下)		1,847	1,061	1,490	4,398	6,885	80,460	201,360 △(120,899)
鉄	力	1,697	1,073	4,694	7,467	6,042	66,956	63,564 (3,392)
軌	條	337	110	610	1,057	3,107	30,639	43,332 △(12,693)
線	材	5,376	545	1,748	7,669	9,757	141,728	152,436 △(10,708)

シートパイル	2,102	—	1,120	3,222	1,383	23,126	20,916
鋼 管	1,276	1,233	2,520	5,034	3,976	60,552	(2,210)
其 他	1,017	161	866	2,047	2,156	31,442	52,908
							(7,644)
計	20,899	6,520	18,468	45,887	45,124	624,380	25,800
							(5,642)
							700,836
							△(76,456)

備考 △は減少。

純ベンゾール と モーターベンゾール

1、純ベンゾール及純トルオール新価格 染料界並に特種方面の原料として関係筋度々の需要増加から再度モーターベンゾール生産豫定高の減少迄来たした當所純ベンゾール及び純トルオールは、實需者毎期の熱望によつて前期は遂に價格算定の基礎を變更した結果需要漸増に反比例して相當の値下を餘儀なくせられたが、其後需給の好調とモーターベンゾールの安定から今期(自 1 月至 6 月渡)一般向價格は下記の通り改定した。

但し純ベンゾール價格は從來數量によつて區別して居たが實際の契約状態を参照し今期は純トルオール同様に單一價格に改めた。

(1) 純ベンゾール 金 200 圓(前期最低より 5 圓値上) (2) 純トルオール 金 295 圓(据置) 備考 (以上八幡工場構内渡容器付 1 佛純單價)

因に目下の定期契約者は下の如し。

(1) 純ベンゾール 日本染料製造株式會社、三井鑛山株式會社、帝國染料製造株式會社、陸軍被服本廠

(2) 純トルオール 日本染料株式會社、株式會社岩井商店、保土ヶ谷曹達株式會社

2、モーターベンゾール据置 大阪揮發油組合の賣價統一機關の成立も實現しそうな聲ばかりで未だ實施の模様なく相變らず法外の安物介在に市價は混池を報ぜられ東西ともに何等の新味も認められない。

反之其の餘波を喰つて一時は先安を豫想せられたベンゾール市場は確實な必需筋を控えた關係からか一般經濟界の不況のドン底にも不拘幸に相當の状勢を保つて年を越し、客月中當所モーターベンゾール荷動の如きは大口契約先の努力により近來の好成績を擧げて居る。

以上に據り 1 月—2 月渡當期モーターベンゾール新價格は据置の事とし、ソルベントナフサ以下は夫々の需要状態に基き下記價格を發表した。

(1) モーターベンゾール 70 噸以上契約の場合 金 170 圓 (2) 100 %ベンゾール 金 225 圓
 35 噸以上 " 金 180 圓 (3) ソルベントナフサ 50 噸未滿契約の場合金 145 圓
 35 噸未滿 " 金 190 圓 30 噸以上 " 150 圓

(4) 製鐵テレメン油 金 150 圓 備考 (以上八幡構内渡容器付 1 佛純單價)

3、モーターベンゾール荷動状態 當所への直接需要者の逐増は暫く置き、揮發油界に密接の關係を有する當所モーターベンゾール本年度 12 月までの各月生産高並に受渡高は下の如し。

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
生産高	503 噸	480	444	406	375	364	474	439	569	4,048
受渡高	481 噸	377	590	474	267	522	422	474	514	4,121

4、5 月渡先物協議會 昭和 5 年劈頭に於ける 4、5 月渡協議會は 1 月 10 日當所東京出張所に於て開く、恒例の買手側提出諸項及決定値段等次の如し。

區分\品名	棒鋼	中小山形	大型山形	工形	溝形 (吋寸法)	" (耗寸法)	鋼板 4.5 耗	" 3.2 耗	" 2.3 耗	" 1.6 耗	線材	鉞力 100 封度	" 170 度封	黑板 13 枚
冲着値段	6-10-0	6-11-6	6-11-6	6-8-0	6-17-6	6-9-0	7-11-6	7-17-0	8-0-9	8-2-6	7-7-0	1-0-9	1-18-0	13-9-6
河岸着値段	84.52	85.26	85.26	83.55	88.16	84.04	94.98	97.66	104.47	105.32	87.34	11.00	20.09	161.59
希 望	84	83	83	83	87	83	94	97	104	105	85.50	10.90	20.00	160.00
本所決定値段	84	84	84	83	87	84	95	97	104	105	85.50	11.00	20.00	161
備 考	据置	1圓上げ	"	据置	"	1圓上げ	"	"	据置	"	"	10錢上げ	30錢下げ	1圓上げ
爲替	2/10—3/2													

年改まると共に海外入電は稍見直しの感あるも、何にせよ、内地は豫測を許さぬ金解禁を翌日に控へての協議會故買手側は徹頭徹尾弱氣一天張りにて賦力は値下げ其の外全部据置を希望するに至つた。

然し徒に退嬰に終始して好轉の機を逸することを恐るゝと共に、あまりにも一般經濟界に逆行することをも避けて除々に機運の醸成に努むる意味より別表の通り數種のものに就き 1 圓上げと云ふ穩健なる歩調を執ることとし、其他に就ては賦力 170 封度を除き全部据置きと決定した。

12 月中大陸市況—混沌 深刻なる世界的需要不振に大陸市況依然不況、市場は何等か、より積極的なる對策の講ぜらるべきを期待して、取引殆んど無く、氣迷ひ氣分濃厚である。實際メーカーの鮮かに抜いた傳家の寶刀たる 1 割生産制限もほんの驚かしに終つて其の後の市場には一向に反響も無く、商人筋では「聲のみにして實行の伴はざる生産制限」として左程注意を傾けておないらしい。もとより未だ制限後の生産數量を知り得ない吾人によつて、其の眞偽の程は分らないが、不況に苦しんでゐる大陸メーカーが、苦境打解の一策として、大量生産に依る生産費の低下を計ることは見安い事實で、生産制限が兎角實行力なきは何處も同じ、將して嚴守せられるや否や甚だ疑ひなきを得ない。斯くして全製鐵業關係者の興味は一に歐大陸メーカーの間に問題となつてゐる價格協定乃至共販組合の成否如何に集められてゐると云つて差支あるまい。歐洲には此數ヶ月間何の國際鋼塊組合員を中心として幾度か臨時會合が開かれ、盛に此等諸問題が討議されてゐる。

第 1、生産制限 第 2、最低價格協定及エキストラ問題 第 3、共販組合の設置

其は去ぬる 1927 年の極度の不況に襲はれた此等諸國のメーカーが一堂に會して鳩首凝議した問題の範圍を一步も出でゝはゐない。當時の相場は最低 4—13—0、今は 5—2—0、國內相場は 553 法對 745 法（佛蘭西）、864 法對 980 法（白耳義）而も當時は何等の結果を得ずして、佛蘭西も白耳義も悲惨な貸借對照表を残してゐる。將して此等の諸問題がどう進展し、如何なる實を結ぶかは、吾人にとつて只に興味ある許りでなく、對岸の火災視して冷然と構えるだけの實力もない筈、敢て一應其後の成り行を瞥見するのも無駄ではあるまい。

第 1、生産制限は前述の通り、即ち

年 期	1929 年第 1. 4 半期	第 2. 4 半期	第 3. 4 半期	第 4. 4 半期
生産割當總額	29,287,000 噸(但し 1 年間)	31,287,000	32,287,000	29,058,300
備 考		200 萬噸増加	100 萬噸増加	1 割制限實施

尙 12 月末ドツセルドルフに開かれた會議は明年度第 1. 4 半期（1930 年 1 月—3 月）に對しても現状を持續すべきことを決定した。

第 2、最低價格協定 國際的價格協定の從來實行せられてゐるものは軌條、鋼管(共に 1926 年より)線材(1927 年より)の 3 種目で、夫々強固なる組合の下に統制せられてゐるが、其の他に就ては未だ見るべき何者もなかつた。もとより包括的なる國際鋼塊組合を以つてしては充分なる目的を達し得べくもない。此れが過去數年間市況不味の度毎に問題となつて現はれる所以でもあり、鋼塊組合のとかく無用の長物視される根因でもある。

そこで此の程漸く出來上つたものが

- (1) 棒鋼 最低價格を 5—5—0 と定む (2) 工形(NP型) “ 4—19—0 と定む(但し未だ公表されず)
- (3) 大型山型 “ 5—5—0 と定む (“)

然し此等は凡て紳士協約の範圍を出ず、其の實行力に付ては聊か危ぶまれる隙もあるが、兎も角も其の後の相場は最低價格に落ち着いてゐる。此等以外の品種に付いても例へば鋼板(1/2") 半製品等に付き目下同様の協定を試み様としつゝあるとのこと、聽ては實現する曉もあるであらう。

第 3 共販組合の設置 製品の輸出向共同販賣組合の設立案は夙に獨乙の主張しつゝある所であるが白耳義メーカーの反對に會つて、出來得べくして實現し得なかつたもの一つである。然るに其の機漸く熟してか、巴里、リージュ、シアールロア、及ブラツセルに開かれた數回に亘る豫備交渉の後、一つの成案を得て、12 月 14 日ドツセルドルフの本會議に提出、遂に可決せらるゝに至つた。其の公表する所に依れば

- (1) 國際鋼塊組合は市場の吸收力に適應する様生産を調整する手段として、各々其の繁閑に應じ、相互に手持注文を適宜融通すること。
- (2) 主要製品の輸出向注文配分事務所を設置すること、該事務所の一般的組織は既に決定せられてゐるが、其の詳細に關しては 1 月初めの會合に於て制定せらるゝであらう。

是こそ多年熱望した共同販賣組合の前提乃至先驅と見らるべく、其の活動開始の暁には市場に相當の効果を興ふるに疑ひなく、今の所萬人の注視を獨占してゐる形である。尙同事務所の存續は 6ヶ月の期限が劃されてゐる、此處に最も留意すべきは該案には最低價格協定に關し一言もふれてゐないが、然し之を以つて直ちに何等の定協なしと斷ずることは早計の譏を免れまい。最低價格の協定こそ實に其の使命の最重要なるものであること勿論で、此れなくしては該手段に依る市場平安の確保を到達するに由ないであら。

以上は大陸メーカーの逆流を乗り切つて、市場に一新生面を展開せんとする努力の跡である。將して其は坦々たる大平原を悠揚迫らず歩む大河に通ずるか、或は又濁流渦巻く瀑布の懸かるるか、此の還境裡に歐大陸市場は先行悲觀樂觀の觀察を取り交ぜ、混沌として語るべき市況の何物をも持たない。

下に例に依つてブラッセル取引所の平均相場を掲げ様、

	棒 鋼	工形(NP)	〃 (BS)	大形山形	中形山形	鋼板(3/16")	ピレット 2 吋
4 日	5-5-0	4-19-0	4-19-6	—	—	6-3-9	4-11-3
11 日	5-5-0	4-19-0	4-19-6	—	—	6-4-0	4-11-3
18 日	5-5-0	4-19-0	5-1-0	5-5-0	—	6-4-0	4-11-6

東西市況—デリ貧 昭和 4 年は豫期通り減入つた儘越年の止むを得ざるに到つたが、永い間の準備期があつた爲東西共別段の怪我もなかつたのは不幸中の幸と云ふべきであらう。

新春劈頭問題の金解禁は愈々 11 日を期して實施せられた、鐵鋼界としては豫て期したることゝ之が直接原因となつての變化は何等見出せないが昨年来の趨勢として不相變デリ貧の境地は脱することが出来ぬ、民間メーカーも此類勢を挽回すべく 8 日の會議に於て丸鋼 3 割減産を聲明して 1 月より實施することにした、また海外も年改ると共に浮動はありながらも大體に於て稍好轉の入電に接する等材料としては好ましいものであるが、何にせよ 1 ヶ年の最不需要期に直面して、未だ正月気分も脱け切らず、賣りさへすれば間違ひはないとの弱氣に支配されて居る模様である。

東京市況

丸鋼。3 割減産と在庫消化により概れ此邊かと期待して居る筋も相當多い様であるが、安物注入の噂と不需要期を楯に厭氣もあり、目先暫くは落ち付くまいと見られて居る。然し見積物に對しては相當硬化して來た様に云はれて居る。

角、平鋼。角は品薄ではあるが賣行不振と大勢に押されてデリ安。平は下押氣味ではあるが、伸鐵の影響を受けぬ 2 1/2 以上は比較的保合つて居る模様である。

型鋼。中型等山は相場としては下押しであるが未だまだ引き合ふ上、目先も相當期待を繋がれて居るが大型は不冴不等山は消化不良の爲一段と引き緩みである特に民間物が近く市場に現はれると云はれて居る 3×5、3 1/2×5 は落潮稍急を告ぐるに至つた。此滔々たる類勢裡に未だ活躍して居るものは溝形である、豫期された當所品が未だ現はれない 2×4 など不相變の高値を呼んで居る、其他 2 1/2×5、3×6、3×7 好調。之に反し凋落の尤は工形で賣行の不振に加へて輸入は増加するので今の處殆んど停止する處を知らない有様である。

鋼板。東京は昨年中は辛ふじて 10 圓臺を保つたが、新年に入るや遂に臺割れとなり其後は一瀉千里 6 m/m など已に 9 圓 50 錢危ふしと見られ前途望なく、只 1 6×4×8 など、どうやら餘喘を保つて居るのみである。

大阪市況

丸鋼。丸鋼に對する人氣は全く失せるものゝ如く製鋼業者の 3 割減産も一向に刺戟を興へず市場又閑散。然し市場在庫品は一般的に減少せる爲幾分落付きを見て居る。

角、平鋼。當所品出廻り順調と伸鐵品の安値に押されて不冴。

型鋼。中山形鋼は依然品薄にて比較的上値にあるも賣行不振にて活氣乏しく大山形不等邊當所品の出廻りに荷凭れ一段安。溝形鋼 50×100、3×7 迄のものは依然品拂底に超越的高値を以て取引されて居るが入荷毎に引落され居る大型ものは賣行不振にて一段安。工形鋼は賣行面白からず引續き安値を現出して居る。

鋼板。厚薄の差別なく慘落し原價も採算もあつたものにならず、反動安に痛撃を受けて居る。

線材。年末より保合状態にて越年し 7、8 日頃は一吋上向くかと思はれし相場も買手小口にて製品摺々しからず又々々頭打ちの状態のやうである。

鉄力板。12月及び1月といへば1ケ年を通じて鉄力板の最低値段を示す所謂不需用期であるが兎に角舊臘に引續いて尙手持不沙汰の有様にて且つ昨今財界の不振と支那向は銀安に崇られ玩具方面の需要が殊の外悪るく賣手と買手の値が合はず見送つてゐるらしく何分採算上から取引控へて在庫としては決して多くはないやうで相場はこれ以上下落の餘地なきものゝ如く弱保合状態だと云はれてゐる。

東京大阪市中相場 (東京 12月28日 1月8日 1月18日)
(大阪 12月23日 1月7日 1月15日)

	12月下旬		1月上旬		1月中旬	
丸鋼						
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
6 m/m	8.60	8.40	8.60	8.45	8.45	8.40
9	8.30	8.00	8.30	8.00	8.15	8.00
12	8.25	8.30	8.20	8.20	8.10	8.10
19	8.15	7.90	8.05	7.90	8.00	8.00
25	"	"	"	"	"	"
50	9.50	8.60	9.20	8.40	9.00	8.40
65	9.00	"	8.80	"	8.60	"
角鋼						
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
9 m/m	9.80	8.60	9.60	9.00	9.50	8.90
12	9.50	8.50	9.40	8.40	9.30	8.40
15	9.40	8.40	9.30	"	9.20	"
19	"	8.80	"	8.80	"	8.50
38	9.70	8.60	9.60	8.70	9.50	8.40
平鋼						
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
1/4" x 1 1/2"	8.60	8.40	8.50	8.30	8.30	8.30
1/4" x 2"	"	8.30	"	8.20	"	8.35
1/4" x 3"	8.90	8.70	8.80	8.60	8.50	8.40
3/8" x 4"	9.50	8.80	9.60	8.80	9.60	8.60
1/2" x 4"	9.70	9.00	9.80	"	9.70	8.80
等邊山形鋼						
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
6 x 50 x 50	8.70	8.70	8.60	8.70	8.50	8.60
6 x 65 x 65	8.60	9.20	8.50	9.30	8.40	9.30
9 x 75 x 75	8.60	9.00	8.50	8.80	8.40	8.70
9 x 130 x 130	9.50	8.80	9.30	"	8.80	8.60
12 x 130 x 130	9.30	"	9.20	8.60	"	8.80
15 x 150 x 150	9.70	9.00	9.30	9.00	8.90	8.90
不等邊山形鋼						
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
3/8" x 2" x 3"	9.00	8.70	8.90	8.60	8.60	8.60
3/8" x 3" x 4"	8.70	"	8.60	8.70	8.40	"
3/8" x 3 1/2" x 5"	8.90	8.90	8.80	8.80	8.60	8.80
3/8" x 4" x 6"	9.00	8.80	9.00	8.70	8.70	8.70
1/2" x 4" x 6"	8.90	"	8.90	8.50	"	"

	12月下旬		1月上旬		1月中旬		
溝形鋼							
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	
1/4" x 2" x 4"	13.00	15.00	13.00	15.00	13.00	15.00	
0.312 x 2 1/2 x 5	12.50	12.00	12.00	11.00	11.00	10.80	
3/8" x 3" x 6"	13.00	13.00	13.00	12.50	11.50	11.40	
3/8" x 3" x 8"	10.00	8.90	9.80	9.70	9.50	8.80	
3/8" x 3 1/2" x 10"	10.40	9.20	10.30	9.20	9.80	"	
3/8" x 3 1/2" x 12"	9.80	9.30	9.80	9.00	9.40	8.90	
工形鋼							
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	
1/4" x 3" x 6"	8.70	8.20	8.70	8.20	8.50	8.30	
3/8" x 6" x 12"	9.50	8.40	9.30	8.40	8.80	8.40	
0.28 x 4 x 8	8.80	"	8.60	"	8.40	8.50	
0.35 x 5 x 12	9.50	8.50	9.50	8.50	9.00	8.70	
0.36" x 5" x 10"	9.40	9.50	9.40	9.70	9.00	10.50	
鋼板							
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	
1.6 x 3" x 6"	11.30	11.00	11.20	10.80	11.00	10.70	
1.6 x 4 x 8	11.90	10.40	11.80	10.40	11.40	10.50	
3.2 x 4 x 8	10.10	9.50	9.90	9.40	9.70	9.40	
3.2 x 5 x 10	12.00	12.00	11.60	11.30	11.60	11.10	
6.0 x 4 x 8	10.00	9.70	9.80	9.40	9.50	9.30	
6.0 x 5 x 10	"	"	"	"	"	"	
9.0 x 4 x 8	10.30	9.60	"	9.50	9.60	9.30	
9.0 x 5 x 10	"	"	"	"	"	"	
薄鋼板 (13枚)							
米	64	62.5	63	62.5	62	63	
英	63	61	62	62	61	62	
八幡	63	61	62	61.5	61	62	
鉄力板							
米	{170lbs	22.60	21.80	22.50	22.00	22.30	22.05
	{100	12.80	12.00	12.70	12.00	12.50	12.00
英	{170	21.00	20.50	21.00	20.30	20.80	20.20
	{100	11.60	11.80	11.60	11.50	11.60	11.20
八幡	{170	21.50	21.20	21.50	21.80	21.40	20.50
	{100	11.60	11.50	11.60	11.80	11.60	11.80
線材							
No. 5#		91.00	83.5	91.00	83.50	90.00	83.

備考 單位 100 kg につき(置場渡値段)、但し薄板は1枚當り。線材は1噸當り。鉄力板は1箱當り。

外國爲替市中相場

區分/月日	Dec. 12	23	24	26	27	28	30	31
日 英	2/0-1/16	"	"	"	"	"	"	"
日 米	48-1/16	"	"	"	"	"	"	"
日 佛	12.35	"	"	"	"	"	"	"

區分\月日	Jan. 4 1930	6	7	8	9	10	11	13	14	15	16	17	18	19
日 英	2/0-1/8	"	2/0-5/32	2/0-1/16	"	"	2/0-1/4	"	2/0-3/32	2/0-5/16	2/0-1/4	"	"	"
日 米	49-1/16	49-1/8	"	"	"	"	49-1/4	"	"	49-3/8	49-1/4	"	"	"
日 佛	12:40	"	"	"	"	"	12:45	"	12:50	"	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

販賣旬報 第 116 號 (其 2) 昭和 5 年 1 月 21 日 製鐵所販賣部

昭和 5 年 3 月 渡定期先物品種寸法別數量表 (單位噸) 備考 {累計は昭和 4 年 4 月 渡よりとす。

寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計
丸			44	54	794	50	525	4,273	7×3	178	1,541	24×7½	30	1,133
6 ^{m/m}	300	3,629	50	45	1,013	65	420	3,010	7×3½	—	326	m/m/m/m		
8	127	2,594	55	—	20	75	343	3,162	8×2½	160	904	200×100	60	1,386
9	1,751	24,370	65	28	1,179	90	28	744	8×3	300	2,440	200×150	—	404
11	—	957	75	16	1,098	100	40	791	8×3½	156	605	230×100	—	308
12	860	14,952	90	10	995	130	615	6,481	8×4	—	200	250×125	180	2,113
50	134	3,560	100	—	323	150	740	9,767	m/m/m/m			300×150	299	2,838
55	131	2,178	合計	713	12,684	200	170	905	75×40	29	899	合計	884	15,575
60	51	775				合計	3,186	36,004	100×50	305	3,259	型鋼	8,023	109,018
65	106	2,349	平	鋼					230×80	185	479	條鋼	14,131	221,015
70	38	661	¾"	110	1,918				230×80	110	343	合計		
75	80	2,017	⅞	80	1,655	不等邊山形鋼			250×90	185	2,919	鋼板		
80	30	552	1	141	4,041	2½"×2"	—	392	300×90	141	2,741	1-6	794	7,153
90	54	922	1¼	158	4,382	3½"×2½"	—	369	380×100	30	1,261	2-3	321	2,817
95	—	236	1½	115	3,758	5×4	—	551	合計	3,252	31,750	3-2	1,219	8,218
100	52	406	1¾	66	2,036	6×3½	—	1,681				4-5	323	3,260
合計	3,714	60,158	2	209	5,621	6×4	353	4,704	工形鋼			6-0	532	5,404
角			2¼	—	538	m/m/m/m			4"×3"	—	700	8-0	160	339
12 ^{m/m}	75	1,044	2½	115	4,205	75×50	85	1,216	5×3	—	387	9-0	234	1,030
14	5	25	3	234	4,804	75×65	100	1,674	6×3	20	776	12-0	73	140
15	—	653	3½	135	1,976	90×75	—	1,777	6×5	—	374	合計	3,656	32,017
16	63	572	3⅞	263	2,003	100×75	15	2,387	7×4	—	353	鋼板合計	3,656	
19	58	706	4	55	1,502	125×75	37	4,743	8×5	—	140	(累計)	32,017	
22	—	305	5	—	716	125×90	111	6,195	10×6	—	160			
25	108	1,017	合計	1,681	39,155	溝形鋼			12×5	—	80			
28	—	398	棒鋼	6,108	111,697	3½"×2"	—	471	14×6	100	1,074			
32	173	1,257	等邊山形鋼			5×2½	437	4,581	16×6	85	1,235			
38	80	1,285	40 ^{m/m}	195	4,898	6×2½	316	3,209	18×7	70	1,289	總合計	17,787	
			45	110	1,973	6×3	720	5,572	20×7½	40	825	(累計)	253,032	

昭和 4 年 12 月 當所製品揚地別發送高 (單位噸)

品名區分	揚地別													合計	
	阪神地方	京濱地方	當所渡	伊勢灣東海地方	山陰北陸地方	内海沿岸四國地方	奥羽地方	關門九州地方	北海道樺太地方	滿州關東地方	支那	臺灣	其他		
鋼材	官廳向	10,600	5,832	240	5	204	279	—	3,924	1,345	17	—	—	—	22,446
	民間向	38,262	17,411	7,260	2,152	—	—	300	2,280	253	—	—	—	—	67,918
計	48,862	23,243	7,500	2,157	204	279	300	6,204	1,598	17	—	—	—	90,364	
鋼片及鋼塊	110	270	2,649	—	—	—	940	—	3,225	—	35	—	—	7,222	
副製品	41	1,003	12,020	—	—	—	1,787	—	3,061	—	—	—	—	17,919	
合計	49,013	24,516	22,169	2,157	204	3,006	300	12,490	1,598	52	—	—	—	115,505	

昭和4年11月中國別輸入數量表(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本年度計
條及竿鐵 (丸、角及平形にして徑邊又は幅15m/mを 超えざるもの)	22	51	277	39	20	12	26	8				455	35,658
〃 (丸、角、平のもの其他)	323	351	1,488	368	361		48	29			17	2,985	45,441
〃 (テー形及アングル形)	2,474	1,003	733	564				8	7		25	3,903	39,676
〃 (其 他)	735		1,881	805				477				4,901	55,120
レ ー ル	1		968					2,308				3,277	31,772
フ イ ツ シ ュ ・ プ レ ー ト			178					62				240	1,388
ワイヤロープ (巻きたるものにして徑 5m/mを超えざるもの)							2						194
〃 (巻きたるもの其他)	669	1,245	4,936	2,083			154	1,207				10,294	146,976
鐵板 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7m/mを超えざる確蓋鋼板)	239		189					260				688	9,436
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7m/mを超えざるもの其他)	4,617		993					718			5	6,333	75,943
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 3 m/mを超えざるもの)	72	136	378	152	16		42	457	39			1,292	16,759
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	2,795	54	8,588	527	265		2	318	41			12,582	52,955
〃 (錫鍍したる)(葉鐵及葉鋼)	2,858							3,283			171	6,312	72,267
〃 (亞鉛鍍したるもの)	20		15					171			59	265	1,879
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)			148	2			3	102				255	11,060
鐵 線	31		15	4			43	156				249	2,966
リ ー ド ・ ワ イ ヤ ー		1										1	44
鐵 リ ボ ン	110	1	216				63	1				391	5,042
帶 (箱 鐵)	201	586	5,582	310				61				6,743	49,345
パ ラ ゴ ン ・ ワ イ ヤ ー	2											2	136
線 索	36		77	4								117	416
撚 合 線												—	64
バーブド・ツイスト・ワイヤ												—	—
鐵 筒 及 管	257	610	2,155		2	160	5	1,085			5	4,289	58,572
特 殊 鋼(稅表一)	20		18		89		45		9		29	210	1,500
〃 (稅表二)	19				5		18	1			6	49	807
鐵道車輛用車輪及車軸				110								130	865
鐵道車輛用タイヤ			42									42	1,827
鐵道車輛用スプリング												—	1
合 計	15,504	4,130	28,869	4,974	758	172	451	10,732	96		317	66,003	718,109
フ エ ロ ・ マ ン ガ ニ ー ス	804											804	2,319
フエロシリコン及 シリコスビーゲルアイゼン												—	396
其他の不可鍛成鐵合金	1		10				18				5	34	277
シ ー ト バ ー (ティンバーを含む)		524	1,095					1,185			914	3,718	123,708
インゴット、ブルーム、ヒレット及 スラップ	5	163	223	313	4	57	3	32				800	32,544
ケツグスチール及バンブスチール	2							100				102	751
其他の塊及錠鐵												—	5
合 計	812	687	1,328	313	4	57	121	1,217			919	5,458	160,000
銑 鐵	893		50						9,616	19,099	9,196	38,854	610,054
屑 及 故 鐵	2,468	4	323	1,349		16		30,990	212	13,901	17,729	67,022	452,027

昭和4年12月中神戸、大阪、横濱3港輸入鋼材

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼ノ部		7 ^m /m	3	1 ¹ / ₀₄	1	型鋼ノ部		7×3	22	2×2	51
丸鋼		8	1	1 ¹ / ₈	1	等邊山形鋼		8×3	33	2 ¹ / ₂ ×2 ¹ / ₂	10
		9	1	1 ¹ / ₃₂	1	3 ¹ / ₂ ×3	23	3×3	16	3 ¹ / ₂ ×2 ¹ / ₂	11
3 ¹ / ₁₆	21	47	4	1 ¹ / ₄	71	9×3 ¹ / ₂	1	3 ¹ / ₂ ×2 ¹ / ₂	11	4×3	57
1 ¹ / ₄	30	60	20	1 ¹ / ₂	72	10×3 ¹ / ₂	8	4×4	20	6×4	10
5 ¹ / ₁₆	33	90	30	1 ³ / ₄	61	11×3 ¹ / ₂	15	6×4	10	6×6	4
1 ¹ / ₃₂	2	200	18	2	58	13 ¹ / ₂ ×4	5	計	170	計	198
3 ³ / ₈	19			2 ¹ / ₄	25	計	194	工形鋼			
1 ¹ / ₂₂	4	計	1,731	2 ¹ / ₂	60	4 ¹ / ₂ ×3 ¹ / ₂	28	5×3	107	パイリングシート	
1 ¹ / ₁₆	6	(造船材料)		3 ¹ / ₂	30	5×3	18	5×4 ¹ / ₄	18	計	3,222
1 ¹ / ₂	144	1/2"	16	3"	13	5×4 ¹ / ₂	5	6×3	15	型鋼合計	8,532
17 ¹ / ₃₂	6	3/4"	78	3 ³ / ₄	3	6×3	10	6×4	10	條鋼合計	12,499
9 ¹ / ₁₆	1	19 ¹ / ₃₂	127	4	14	6×4	13	6×5	35	鋼板ノ部	
5 ¹ / ₈	39	2 ¹ / ₃₂	4	4 ¹ / ₂	6	6×4 ¹ / ₂	30	6×6	30	鋼板(0.7^m/m超)	
2 ¹ / ₃₂	1	3/4	2	5	16	7×4	62	7×4	62	1/16"	815
3 ¹ / ₄	42	13 ¹ / ₁₆	4	5 ¹ / ₂	365	8×4	43	8×4	43	1/32"	443
2 ¹ / ₃₂	2	2 ¹ / ₁₆	29	6	63	8×5	85	8×5	85	1/8"	968
7 ¹ / ₈	11	7 ¹ / ₈	1	10	198	9×4	21	9×4	21	3/16"	478
2 ¹ / ₃₂	3	2 ¹ / ₃₂	5	10 ¹ / ₂	1	10×4 ¹ / ₂	10	10×4	8	1/4"	654
3/4"	2	1	52	20	67	10×5	149	10×5	149	5/16"	36
1	48	1 ¹ / ₄	3	22	32	10×6	218	10×6	218	3/8"	107
1 ¹ / ₂	7	1 ⁵ / ₈	17	23	1	12×5	468	12×5	468	1/2"	90
1 ¹ / ₈	3	1 ³ / ₄	2	24	21	12×6	154	12×6	154	3Sheets	8
1 ¹ / ₄	48	17 ¹ / ₈	4	27 ³ / ₄	8	15×5	18	15×5	18	4	8
1 ⁵ / ₁₆	19	2	3	30	1	15×5 ¹ / ₂	51	15×5 ¹ / ₂	51	B.W.G.No.	
1 ³ / ₈	1	2 ¹ / ₂	10	95 ^m /m	20	15×6	35	15×6	35	12	5
17 ¹ / ₁₆	2	2 ³ / ₄	30	計	1,499	18×6	54	18×6	54	12 ¹ / ₂	1
1 ¹ / ₂	18	3	7	(造船材料)		18×7	966	18×7	966	13	59
1 ³ / ₁₆	24	3 ³ / ₈	1	2 ¹ / ₂ "	3	20×7 ¹ / ₂	163	20×7 ¹ / ₂	163	14	62
1 ³ / ₄	21	3 ¹ / ₂	8	2 ³ / ₄	1	計	2,910	計	2,910	15	10
1 ¹ / ₁₆	19	3 ³ / ₄	2	3	11	溝形鋼		3 ¹ / ₂ ×2 ¹ / ₂ "	4	16	4
17 ¹ / ₈	13	4	7	3 ¹ / ₂	6	6"×"	13	3 ¹ / ₂ ×3	10	17	9
1 ⁵ / ₁₆	10	4 ¹ / ₂	1	3 ³ / ₄	1	10×2.6	21	4 ¹ / ₂ ×3 ¹ / ₂	9	18	5
2	12	5 ¹ / ₂	18	4	1	10×3 ¹ / ₂	20	5×3	15	19	1
2 ³ / ₃₂	4	計	427	5	3	12×3	41	5×3 ¹ / ₂	7	20	2
2 ⁹ / ₁₆	1	角		5 ¹ / ₄	2	12×3 ¹ / ₂	79	6×3	10	21	1
2 ¹ / ₄	10	鋼		6	8	12×3 ⁵ / ₈	43	6×3 ¹ / ₂	9	22	6
2 ¹³ / ₃₂	15	計	2,158	7	1	15	61	6×4	45	1 ^m /m	20
2 ¹ / ₂	32	1/2"	5	8 ¹ / ₂	2	8×3 ¹ / ₂	4	6×4	45	1 ⁷ / ₈	16
2 ⁹ / ₁₆	1	3/8"	7	計	38	計	113	8×3 ¹ / ₂	4	2	1
2 ⁵ / ₈	30	1/2"	13	半圓鋼		計	331	計	113	2.2	102
2 ³ / ₄	21	5/16"	5	(造船材料)		球山形鋼		60×24	10	6	327
3	17	3/8"	7	計	1,537	m/m		其他	13	8	16
3 ¹ / ₈	5	1/2"	2	六角鋼		60×50	1	計	302	10	16
3 ¹ / ₄	11	3/8"	11	(造船材料)		100×90	7	(造船材料)		11	7
3 ³ / ₈	2	1/2"	3	計	3	180×90	7	9"×3 ¹ / ₂	48	12	4
3 ¹ / ₂	2	3/4"	3	計	62	200×90	10	12×3 ¹ / ₂	14	18	227
3 ³ / ₄	11	7/8"	10	其他の棒鋼		計	24	計	62	丁形鋼	
4	14	1 ¹ / ₄	4	計	7	(造船材料)		計	364	計	
4 ¹ / ₄	34	1 ¹ / ₂	9	六角鋼		5"×2"	2	計	19	計	
4 ¹ / ₂	159	2 ¹ / ₂	3	計	62	5×3	8	計	19	計	
4 ³ / ₄	29	3	4	計	62	5 ¹ / ₂ ×3	3	計	19	計	
5	145	4	1	計	7	6×3	50	計	19	計	
5 ¹ / ₄	10	14 ⁵ / _m /m	102	棒鋼合計	3,967	計	988	計	198	計	
5 ¹ / ₂	46	計	200	計	7	計	988	計	198	計	
6	128	平		計	7	計	988	計	198	計	
6 ¹ / ₄	18	鋼		計	7	計	988	計	198	計	
6 ¹ / ₂	30	3/8"	10	計	7	計	988	計	198	計	
7	73	1/2"	30	計	7	計	988	計	198	計	
7 ¹ / ₂	20	5/8"	32	計	7	計	988	計	198	計	
8	104	3/4"	70	計	7	計	988	計	198	計	
8 ¹ / ₂	20	7/8"	53	計	7	計	988	計	198	計	
9	26	1	95	計	7	計	988	計	198	計	
10	4	計	95	計	7	計	988	計	198	計	
11	24	計	95	計	7	計	988	計	198	計	

品 種 寸 法 別 數 量 表 (單位噸)

寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數
(造船材料)		鋼板 0.7m/m以下		總 目 板		其他鋼材ノ部	
3/16"	4	sheets		25lbs用	1	特 殊 鋼	
1/4"	39	8	15	18	6	丸 鋼	146
5/16"	99	9	131	12	6	角 鋼	51
3/8"	167	10	200	重量不明	32	平 鋼	52
7/16"	58	11	61	計	45	鋼 板	29
9/16"	19	12	71	軌附合計	1,101	其 他	74
5/8"	2	13	1,891	線材ノ部		計	352
11/16"	9	B.W.G.No.		線 材		外 輪	
3/4"	4	26	11	1/4"	3	計	10
13/16"	5	28	42	5m/m	452	外輪及車軸	
1	1	30	1,958	5.5	51	計	45
1 1/8"	2	30~31	6	B.W.G.No.		其他合計	
1 3/16"	26	27~30	12	6	155	鋼材總計	45,849
2	3	計	4,398	5	6,676		
2 1/4"	6	電 氣 鐵 板		3	109		
2 1/2"	6			2	38		
2 3/4"	9			1	78		
3	31	0.013"	53	0	5		
3 1/4"	47	0.014	507	00	102		
3 1/2"	3	0.017	235	鋼材合計		7,669	
3 3/4"	24	0.017	235	鋼管ノ部			
4	26	0.35m/m	6	鋼 管			
4 1/4"	68	0.50	52	1/8"	1	シート	2,653
4 1/2"	62	1	10	3/8"	56	バー	
4 3/4"	100	計	863	1/2"	556	ブルーム	969
5	32	縞 鋼 板		3/4"	393	ピレット	758
5 1/4"	28			1	19	フェロクロ	176
5 1/2"	27	3/16"	6	1 1/4"	327	ーム其他	
5 3/4"	6	1/4"	166	1 1/2"	358	ケツグ	74
6	23	5/16"	21	1 3/4"	1	スチール	
6 1/4"	95	3/8"	15	2	481		
6 1/2"	13	計	62	2 1/2"	102		
6 3/4"	137	鐵 力 板		3	151		
7	32			3 1/4"	7		
7 1/4"	11	100lbs	1,778	3 1/2"	24		
7 1/2"	26	170	99	4	47		
7 3/4"	6	Sheets		4 1/2"	6		
8	7	50	7	5	52		
8 1/4"	7	60	92	5 1/8"	239		
8 1/2"	4	70	20	6	348		
8 3/4"	5	80	5	6 1/2"	10		
9	8	90	16	6 3/4"	527		
9 1/4"	9	100	26	7			
9 1/2"	12	mixed	64	8	29		
10	6	Oil size	3,242	8 1/2"	237		
10 1/4"	14	其他	1,209	9	4		
10 1/2"	13	計	7,456	10	15		
10 3/4"	9	鋼板合計	19,144	12	1		
11	21	軌條及附屬品ノ部		12 1/2"	25		
11 1/4"	7			60	6		
11 1/2"	6	軌 條		Pipe fitting			
11 3/4"	2			其他			
12	2	30lbs	239	鋼管合計	5,029		
12 1/2"	2	25	45				
13	3	20	40				
計	1,451	18	329				
		12	243				
		其他	93				
計	6,160	計	1,056				

昭和 4 年 11 月棒鋼寸法別揚地別引渡高表 (單位吨)

丸 鋼										角、 鋼										
民間向普通鋼					官廳向及規格品並特殊鋼					民間向普通鋼					官廳向及規格品並特殊鋼					
區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	合計	區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	合計	
寸法										寸法										
m/m										m/m										
5.5	—	—	—	—	—	—	1	1	1	12m/m	—	—	2	2	—	—	—	—	2	
6	46	4	118	168	3	6	9	18	186	14	—	—	5	5	—	—	4	4	9	
7	—	—	—	—	—	—	1	1	1	16	19	43	10	72	—	—	—	—	72	
7.5	—	—	—	—	—	—	1	1	1	19	—	2	3	5	—	—	—	—	5	
8	—	62	77	139	—	—	1	1	140	22	22	41	15	78	—	—	4	4	82	
8.5	—	—	—	—	—	—	4	4	4	25	73	24	31	128	—	—	3	3	131	
9	185	1,397	442	2,024	—	—	7	7	2,031	28	74	64	41	179	—	—	—	—	179	
9.5	—	—	—	—	—	—	2	2	2	32	95	100	43	238	—	—	9	9	247	
10	—	—	—	—	—	1	—	1	1	38	56	79	14	149	—	—	—	—	149	
10.5	—	—	—	—	—	7	—	7	7	40	—	1	—	1	—	—	—	—	1	
11	102	384	99	585	—	—	—	—	585	44	—	34	10	44	—	—	—	—	44	
12	605	398	200	1,203	—	—	5	5	1,208	50	107	177	32	316	—	—	8	8	324	
13	—	—	—	—	1	—	8	9	6	65	260	176	80	516	—	—	4	4	520	
14	—	—	—	—	—	—	1	1	1	70	—	1	—	1	—	—	—	—	1	
15	—	—	—	—	—	17	1	18	18	75	77	124	20	221	—	—	2	2	223	
16	—	—	—	—	—	—	39	39	39	76	—	—	—	—	—	—	3	3	3	
18	—	—	—	—	—	—	36	36	36	90	227	124	96	447	—	—	—	—	447	
19	—	—	—	—	—	—	28	28	28	100	33	135	60	228	—	—	8	8	236	
20	—	—	—	—	—	—	2	2	2	130	—	—	—	—	—	—	7	7	7	
21	—	—	—	—	—	—	3	3	3	135	10	—	—	10	26	—	—	26	36	
22	—	—	—	—	8	—	141	149	149	150	—	—	—	—	—	—	1	1	1	
24	—	—	—	—	—	—	5	5	5	角鋼										
25	—	—	—	—	1	—	47	48	48	合計	1,053	1,125	462	2,640	26	—	53	79	2,719	
26	—	—	—	—	3	—	5	8	8											
28	—	—	—	—	1	—	21	22	22											
29	—	—	—	—	—	—	1	1	1											
30	—	—	—	—	4	—	15	19	19											
32	—	—	—	—	3	—	122	125	125											
34	—	—	—	—	—	—	1	1	1											
36	—	—	—	—	—	—	14	14	14											
38	—	—	—	—	—	—	15	15	15											
40	—	—	—	—	—	—	7	7	7											
42	—	—	—	—	—	—	4	4	4											
44	—	—	—	—	—	5	12	17	17											
46	—	—	—	—	—	—	1	1	1											
50	532	301	132	955	—	—	12	12	967											
55	—	—	—	—	—	—	2	2	2											
60	1	—	—	1	—	—	2	2	3											
65	65	323	45	433	—	—	2	2	435											
70	—	—	30	30	—	—	1	1	31											
75	40	15	—	55	—	—	—	—	55											
90	—	105	—	105	—	—	4	4	109											
95	75	16	—	91	—	—	—	—	91											
100	—	—	—	—	3	—	12	15	15											
115	—	—	—	—	—	—	2	2	2											
120	—	—	—	—	5	5	—	12	12											
125	—	—	—	—	5	47	—	52	52											
150	—	—	—	—	5	—	—	5	5											
200	—	—	—	—	3	3	4	10	10											
丸鋼計	1,641	3,005	1,143	5,789	45	91	603	739	6,528	平鋼										
										合計	2,393	1,621	511	4,525	—	19	58	77	4,602	
										總計	5,087	5,751	2,116	12,954	71	110	714	895	13,849	

備考 1. 鍛成品を含まず 2. 自家用品は官廳向に含む。

昭和4年11月中當所品種寸法別生産高 (單位噸)

寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量
丸鋼ノ部		計		球山形鋼		9		鐵力板		線材及製釘材合計	
丸鋼		半丸鋼		計		95		B.W.G.No.		6.050	
6.5 ^{m/m}	7	3/8"×1"	2	8 1/2×3 1/2	43	10	253	33	613	其他鋼材ノ部	
7	2	1/2×1	1	Z形鋼		11	109	31	614	普通鋼	
7.5	13	1/2×1 1/8	1	計		12	1,678	30	209	鍛成品	
8	425	1/2×1 1/2	3	100×50×40		12-7	4	29	59	特殊鋼	
8.5	38	1/2×1 3/4	1	計		13	183	計		1,494	
9	4,679	2 1/2×2	2	計		14	120	硅素鋼板		壓延品	
9.5	26	計		11		15	48	0.35^{m/m}		特殊鋼	
11	529	棒鋼合計		18,523		15:87	20	0.43		鍛成品	
12	1,688	型鋼ノ部		計		16	291	計		301	
13	65	等邊山形鋼		型鋼合計		17	25	ユニバーサル平鋼		外車輪軸	
15	82	20^{m/m}		13,445		18	53	9^{m/m}		鋼線	
16	25	25		條鋼合計		19	148	9.5		座鐵	
18	95	30		31,968		19.5	2	25.4		踏釘	
19	36	35		鋼板ノ部		20	85	計		ナット	
20	1	40		0.7^{m/m}以下鋼板		21	1	鋼板合計		リベット	
21	8	50		B.W.G.No.		22	113	22,094		ボルト	
22	158	60		33		23	5	軌條及附屬品ノ部		ナット	
23	2	75		31		24	4	軌條		特種鋼板	
24	1	85		30		25	294	16LBS		銑鐵	
26	2	100		29		26	10	25		本所	
28	5	150		23		28	2	30k		戸畑	
30	10	計		23		29	3	37k		計	
32	10	3,935		23		30	19	50		合金鐵	
34	2	不等邊山形鋼		Sheets		31	9	計		フエロン	
35	1	m/m/m/m		13		32	29	附屬品		マンガン	
36	6	50×35		7		33	6	50k用FP		フエロン	
50	1,193	65×50		計		36	5	37		シリコン	
65	565	75×65		2,258		40	3	ボルト		計	
計	9,674	80×60		0.7^{m/m}超鋼板		42	4	トラック		鋼塊	
角鋼	鋼	90×60		0.8^{m/m}		45	59	ナット		普通鋼塊	
25 ^{m/m}	213	90×75		1		48	52	スパイキ		電爐鋼塊	
28	218	125×90		1.2		50	11	計		甘藷鋼塊	
30	9	2 1/2"×2"		1.4		64	6	軌附合計		鑄造鋼塊	
32	330	3×2		1.5		67	7	線材		計	
38	308	3×2 1/2		1.6		90	64	5.5^{m/m}		鋼片	
44	100	5×3 1/2		1.7		1/8"	33	6.5		內部向	
50	377	6×3 1/2		1.8		3/16	13	7		外部向	
55	1	計		1.85		1/4	10	8		計	
60	14	3,319		1.9		5/16	2	9		短尺及屑鋼	
65	561	溝形鋼		2		1/2	5	計		短尺鋼	
75	392	m/m/m/m		2.2		3/8	26	製釘材		屑鋼	
80	33	100×50		2.3		7/8	1	5.5^{m/m}		計	
90	472	300×90		2.4		1 1/4	3	6.5		79,439	
100	440	5"×2 1/2"		2.5		1 1/2	2	7		8,740	
計	3,468	6×2 1/2		2.6		1 3/8	16	8		計	
平鋼	鋼	6×3		2.9		1 1/2	1	9		7,455	
7/8"	62	7×3		3		1 3/4	2	計		短尺鋼	
1	54	7×3 1/2		3.2		2	6	線材		計	
1 1/4	424	計		3.5		LBS	17	5.5^{m/m}		2,172	
1 1/2	1,262	3,271		3.97		2-2	1	6.5		38	
1 3/4	933	工形鋼		4		7	1	7		91	
2	936	m/m/m/m		4.5		10	1	8		101	
2 1/2	175	200×100		5		B.W.G.No.	2	9		93	
2 3/4	2	300×150		5.25		14	2	計		2,496	
3	544	4×3		5.5		10	1	製釘材		短尺及屑鋼	
3 3/8	12	6×5		5.56		9	1	5.5^{m/m}		短尺鋼	
3 1/2	349	7×4		6		計	18,065	計		2,142	
3 5/8	337	12×5		6.5		鋼板計	20,323	計		4,048	
4	279	24×7 1/2		7				計			
4 1/2	1	計		7.5				計			
		2,717		8				計			

昭和4年12月分契約高

品 種	區 分	官廳小計		民間小計		12 月中合計			本年度累計		
		噸 數	金 額	噸 數	金 額	噸 數	金 額	噸 當	噸 數	金 額	噸 當
大	條	317	41,223	5,916	496,344	6,233	537,567	86.35	80,914	7,611,873	94.07
中	條	279	38,715	4,218	351,275	4,497	386,990	86.72	54,224	5,158,593	95.13
小	條	208	30,373	9,307	794,098	9,515	824,471	86.05	73,681	6,885,724	93.45
鋼	板	1,195	197,351	4,693	464,078	5,888	661,429	112.34	96,179	10,583,384	110.04
重軌條及附屬品		41	5,136	1,885	190,834	1,926	195,970	101.75	179,072	18,088,266	101.01
輕軌條及附屬品		52	5,206	165	15,890	217	21,096	79.2	10,868	1,071,456	98.50
線	材	—	—	5,786	484,725	5,786	484,725	83.78	43,224	3,960,769	91.63
黑板、硅素鋼板、鋇力板		4	1,323	4,776	963,459	4,780	964,782	201.84	38,869	7,648,050	196.73
車軸、外輪鍛成品		38	10,981	92	1,504	130	12,485	96.04	5,605	1,432,860	255.64
工具鋼、特殊鋼		4	1,045	204	27,595	208	28,640	137.69	1,409	173,375	123.05
其 他 鋼 材		42	15,575	—	—	42	15,575	370.83	3,470	296,185	85.33
鋼 材 小 計		2,180	346,928	37,042	3,789,802	39,222	4,136,730	105.47	587,515	62,910,535	107.08
鋼片、鋼塊、シートバー		—	—	9,044	591,280	9,044	591,280	65.58	72,984	5,087,997	69.71
以 上 計		21,80	346,928	46,086	4,381,082	48,266	4,728,010	97.96	660,499	67,998,532	102.95
短 尺 及 屑 鋼		188	12,679	2,911	186,589	3,099	199,268	64.30	45,568	3,272,655	71.82
以 上 計		2,368	359,607	48,997	4,567,671	51,365	4,927,278	95.93	706,067	71,271,187	100.94
副 製 品			12,181		424,507		436,688			4,514,962	

備考 鋼片、鋼塊、シートバー契約高中には 10 月、11 月契約高をも 1 部含む。

昭和4年11月中民間棒鋼生産高 (單位噸)

寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數
丸 鋼		1 $\frac{1}{8}$	834	3	32	角 鋼		平 鋼		5 ub	33
		1 $\frac{1}{4}$	963	3 $\frac{1}{4}$	37					其他	
		1 $\frac{3}{8}$	232	3 $\frac{1}{2}$	53						
1/4"	623	1 $\frac{1}{2}$	586	3 $\frac{3}{4}$	22	5/8	679	7/8"	149		
5/16	631	1 $\frac{5}{8}$	61	4	23	1	115	1	248		
3/8	2,054	1 $\frac{3}{4}$	457	其他	669	1 $\frac{1}{2}$	18	1 $\frac{1}{8}$	3		
7/16	4	1 $\frac{7}{8}$	51			1 $\frac{3}{4}$	33	1 $\frac{1}{4}$	201		
1/2	3,442	2	262			1 $\frac{7}{8}$	46	1 $\frac{1}{2}$	202	計	1,895
9/16	16	2 $\frac{1}{8}$	59			2	53	1 $\frac{1}{4}$	137		
5/8	8,154	2 $\frac{1}{4}$	19			2 $\frac{1}{4}$	1	2	362		
11/16	27	2 $\frac{3}{8}$	4			2 $\frac{1}{2}$	11	2 $\frac{1}{8}$ -2 $\frac{1}{2}$	179		
3/4	6,260	2 $\frac{1}{2}$	156			2 $\frac{7}{8}$	93	2 $\frac{5}{8}$ -3	201		
13/16	45	2 $\frac{3}{4}$	29	計	32,310	3	6	3 $\frac{1}{8}$ -3 $\frac{1}{2}$	36		
7/8	3,123	2 $\frac{7}{8}$	70			3 $\frac{1}{2}$	7	3 $\frac{5}{8}$ -4	51	總 計	35,267
1	3,314					計	1,062	4 $\frac{1}{4}$ -5	30		

販賣旬報 第 117 號 昭和 5 年 2 月 1 日 製鐵所販賣部

相場は何處まで下る (其の 5)

前號に於て我國は 1926 年に於ける佛、白が通貨の極端なる暴落に恵まれて、輸出市場に進出し、巨萬の利益を海外より運び來つた有様を眺めた。

而も吾人は此の年に突如勃發した英國の大炭坑罷業を忘れてはならない。其は當然に英國の鐵鋼業に一大打撃を與へたと同時に、其の反面に於て、歐大陸のメイカーに對する思はざるの福音とこそはなつたのである。佛、白の製品は英國市場に崩れ込んで、「商賣に國境なしと」許り空嘯きつゝ、我物顔に振る舞ふ。大英帝國の隨所に悲鳴が聞かれた——夷狄の跳梁に對する呪ひの聲、自由貿易主義を固執する傳統的政府への攻撃と哀訴。

斯くして擧げられた佛、白の凱歌は 1926 年の幕閉ぢると共に提供せられた下の賣行概況に依つて確かめることが出来る。

國別\年月	種 別					
	鋼生産額			鐵鋼輸出額		
	1924 千噸	1925 千噸	1926 千噸	1924 千噸	1925 千噸	1926 千噸
佛 蘭 西	6,900	7,397	8,218	2,724	3,800	4,038
白 耳 義	2,747	2,297	3,223	3,355	2,976	3,643
ルクセンブルグ	1,848	2,042	2,198			
英 國	8,221	7,397	3,560	3,851	3,731	2,987

備考 生産額中には鑄鋼を含み、輸出額中には屑鐵を含まず、總て英噸なり。

上來述べ來つた所に依つて、1926 年に於ける 4 磅何許かの輸出相場は、決して今後に於て繰り返さるゝことあるべき實證となすには足らぬことを知る事が出来た。法貨は既に安定してゐる。従來の磅に對する法(但し佛蘭西)の法定平價 25 法 2215 は 1928 年 6 月 25 日に行はれた幣制改革の結果 124 法 21 に切下げられ、而も爲替相場は 1927 年以來殆んど新平價を中心にして些少の浮動を示してゐるに過ぎない。云ひ換れば當時の 4 磅は決して現在の 4 磅を意味してゐるのではないのだから。

筆者は此の場合にも亦剛雄獨逸を度外視した。何故か? 當時の情況を緜くならば佛白の安賣(法貨暴落を利用して)に如何に獨逸が追從するに苦しんだかを知るであらう。1926 年には獨逸は既に新法定平價の下に安定してゐた。而も年初國內需要は萎縮して能力の 50~60 % を生産し得たに過ぎず、其の後漸く月を重ねるに従つて、國內、國外の需要の擡頭に中頃は、70~80 % 12 月にはフル・キャパシティーで働くことが出来たとは云ふものゝ、佛、白の手剛い競争に相當惱まされたものである。驚天動地の出來事として世界を驚かした斯の大陸鋼塊組合の誕生が獨逸の主張に依つてなされたのも此の年であつたことは此の間の消息を有力に物語つてゐるではないか。

兎も角も筆者は佛、白が能力に比して狹隘なる國內市場を有するに過ぎないことゝ、獨逸人も亦出来る丈け高く賣り度いと云ふ資本主義的本能の所有者であることから、極度の投資能力を有する獨逸が、反つて世界の輸出相場の支配者たる地位(特に棒鋼、型钢)を佛、白に譲つてゐるのを甚だ興深く眺めてゐる。

新玉の年は廻つて明くれば 1927 年、春淺けれど年の始めに氣も人も和やかなるべきに、行末の悲しければ所詮は秋風落漠の思か。さしも榮華を誇りし佛、白もめぐる因果の小車に、あはれや今は落葉の秋を嘆ずる果敢なき身とはなりぬ。と筆を起し度くなる程 1927 年は彼等にとつて餘りにも慘めな年であつた。

前年衆望を擔つて起つた老オアンカレーは組閣後直ちに法貨の安定に着手し、漸時効果を収めて其の公約を果した下に翁の大なる功績を讃えつゝ法貨恢復の経過を眺めよう。

1926 年		1927 年	
(1 磅に對し)		"	
7 月 204.25	1 月 122.815	7 月 124.09	
8 月 169.74	2 月 123.95	8 月 124.02	
9 月 173.35	3 月 124.03	9 月 124.02	
10 月 158.525	4 月 124.02	10 月 124.06	
11 月 139.50	5 月 124.02	11 月 124.02	
12 月 122.565	6 月 124.02	12 月 124.02	

備考 總て月末に於ける爲替相場。

然し其は鐵鋼界にとつては悲しい成功であつた。國內需要は減少した。國內相場は慘澹たる暴落を初めた。法貨の止め度なき低落の被害より免かれる爲に、しこたま買込んだ原料は法貨の恢復と共に著しい値下りを示した。海外の販路は門を閉ざして聲なく、炭坑罷業の反動か、英國は一向に買付けない。輸出相場は下らざるを得ない。5-3-9、4-17-3、そして遂に 4-13-0 の底値まで矢繼早々に引き下げられた。既に掲げた表と重複するきらいはあるが、當時の狀況を最も

端的に知る材料として下に棒鋼相場の低落振りを示して見よう。

	1926年12月	1927年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出相場 (f.o.b.)	5-12-0	5-3-9	4-17-3	5-0-0	4-16-0	4-14-0	4-14-9	4-13-6	4-14-0	4-13-0	4-13-0	4-15-6	4-17-0
國內相場	880法	790	695	620	618	614	610	585	567	555	553	545	555

此等の數字を生産費と對比して見るとき彼等が蒙つた損害の如何に莫大なるかを知ることが出来る。

此處に最も注意すべきは 1926、27 兩年の輸出相場は一見甚だしき差異なきが如くにして、而も其の眞意に於て逕庭の差あることである。前者は法貨暴落を考慮に入れて現在の相場に換算すれば前號表の如く 5-11-6 乃至 7-13

—9 の高値となり、後者は有りの儘の数字である。何故ならば 1927 年の法相場は既に現在の其と殆んど變りないから。

吾人の恐怖は實に此の年の此の数字にあるのだ。因より彼等も夥たしいしき損失の中に喘ぎつゝ生産を續けてゐたのである。然し市況が悪く生存權を主張する必要に迫られればこうした突飛な安値も出ることは否定出来ない事實である。4—13—0 此を日本市場に運び來つた時其は何圓になるのであるか。今假りに對英相場を 2 志 0 片 16 分の 5 として計算すれば運賃輸入税其他の雜費を加へても尙且 80 圓 55 錢だ、幸にも當時は國貨暴落で此の数字の有りの儘の影響は受けなかつたが、金解禁の斷行に爲替相場の安定してゐる今、再び此の状態が繰り返されたらどうだらう。現在 84 圓の入電に青菜に鹽の日本だ。ナメクジならばとけてもたまなう。

海外電報 1 月 24 日着在倫敦松山商務參事官來電

銑鐵昨年の生産 758 萬噸、鋼鐵 965 萬噸、前者約 100 萬噸後者 110 萬噸何れも前年に比し増産、鐵鋼界は大陸粗鋼カルテルの内容方針等の變更懸案中にて販賣組合設立問題等を氣遣ひ一般買控へ、輸出向需要減、賦力内外需要沈靜黑板不振相場何れも不變。

1 月 25 日着在伯林長井商務書記官來電

12 月粗鋼製産高 115 萬 6,000 噸 1929 年生産總額 1,624 萬 6,000 噸國際中央販賣機關設立見込の噂に基き鐵價騰貴豫測の下に輸出商談一般手控國內消化思はしからず鐵價下押し屑鐵 1 乃至 2 馬克方下落製鐵等操短範圍擴張 Vereinigte 製鋼會社配當 6 分 Siemens 會社來資 1 億馬克借入れ交渉中の處成立の噂、償還期限 100 年。

三エス會 在りとあらゆる悪材料が出揃つて不況のどん底に沈潛し、暗雲底迷の感一入なる今日此の頃の鋼材市場に珍らしくも、其の市場出場が鶴首されて居た變壓器用硅素鋼板並びに増産確定の電動器用硅素鋼板に就て、去る 23 日本所に於て恒例の「三エス會」が開催された。會員たる三井、三菱、日立の諸會社の代表者及立石部長、鈴木、木村の兩課長平世技師等々の參集、増産數量の過少が嘆ぜられつゝ其の割當率に議論百出容易に一致を見ざりしも遂に下記事項が議決されるに至つた。

(1) 1 月積より 3 月積までの各社の割當數量。

	三井	三菱	日立
(B 級) 電動器用板	107 噸	67	112
(T 級) 變壓器用板	26	17	28
(2) 同期間に於ける價格	1 級	2 級	
(B 級)	245 圓	215 "	
(T 級)	305 "	275 "	(全部現品箱入りのこと)

4、5 月渡先物概評

1、條鋼、鋼板の申込數量併せて 4,700 噸、蓋し少いことの新記録である。從來の最少記録としてうたはれたモトリウム直後の 2 年 10 月渡 6,000 噸をして後へに撞着たらしめてゐる。之を最高記録である 3 年 12 月渡の 5 萬 3,000 噸と比ぶれば其の雲泥の差もたいならざるに一驚を禁じ得ぬであらう。

2、緊縮風が經濟界を隈なく吹き廻したし、海外安と爲替恢復で鐵價がドン底で一向冴えずにゐる。事實買付ける必要のなくなつたものも居り、買付ける程の前後の見さかいが皆目つかぬ者もゐる。兎に角猫も杓子も一先づ買はないことに定めてゐること丈はどうやら間違ひないらしい。今月先物を評して人は云ふ。野山が乾き切つたのだ。されば森の露、叢のうるをほひもなければ、溪流のせうらぎもない。大河のみ如何でかよく紺碧の水を湛えることが出來やうと。

3、條鋼と鋼板。條鋼では一中形のみ從前の申込超過に鑑みて 700 噸に増加した外、各工場とも賣出數量を据置いた。其結果申込状態を見るに大形は一大形を筆頭として稍見直したが、中形以下は依然として一段の激減を演じた。三小形丸鋼 55 噸の申込に至つては言語同斷である。

鋼板の賣出は工場の繁閑を目安として、厚板を増加し、二中板を据置き、一中板を減じたが、其申込は賣出の少い關係から一中板獨り踏み止まつた外、厚板、二中板は下表に示す通り總敗軍の形である。

4、賦力板、黑板、線材。賣出數量は前月通り。需要に比べて賣出が格段の少なさ丈にどうやら一杯の申込があつた。

4、5 月 積先物賣行概況 單位噸 備考、2 種定期は含まず

工場名	工場名										申込噸數									
	先物賣出	先物引受	線材	一 小	二 形	三小形	一 中 形	二 中 形	四型鋼	一 大 形	二 大 形	三 形	軌條	計	内譯					
			300	1,500	2,000	700	1,000	1,200	1,000	2,500	—	10,200	總噸數	東京	大阪	名古屋	其他			
先物部	條鋼	丸角	45	—	55	—	302	—	—	—	—	—	402	411	160	111	5	135		
	鋼	鋼	—	40	—	32	69	—	—	—	—	—	141	160	60	10	10	80		
	平	鋼	—	116	—	230	—	—	—	—	—	—	346	350	75	85	42	148		
	等	山	—	13	78	—	28	50	41	356	—	—	566	564	290	175	30	69		
	不	山	—	—	—	115	12	95	105	51	—	—	378	358	163	195	—	—		
	溝	形	—	—	—	—	95	—	820	527	—	—	1,442	1,320	297	989	8	26		
	工	形	—	—	—	—	—	60	40	210	—	—	310	270	155	115	—	—		
	先	計	45	169	133	377	506	205	1,006	1,144	—	—	3,585	3,433	1,200	1,680	95	458		
	物	鋼板	部	鐵力板				部	黑板		部	線材				部				
	工場部	區分	先物賣出	引受	申込噸數				區分	品	市	實	賣	1,500	區分	線材	製釘材			
工場名		噸數	噸數	總噸數	東京	大阪	名古屋	其他										種	場	需
厚板		1,000	172	198	95	20	1	82	賣出噸數	700	600	申込噸數	1,500	賣出噸數	2,100	3,100				
一中板		350	352	661	414	95	35	117	申込噸數	700	600	1,500	申込噸數	2,100	3,100					
二中板		700	545	349	158	55	5	131	引受噸數	100lbs	266	200	引受噸數	2,100	3,100					
先物計		2,050	1,069	1,208	667	170	41	330	Oil size 計	170lbs	399	200	1,500	引受噸數	2,100	3,100				
定期部		品	工場名	線材	一 小	二 形	三小形	一 中 形	二 中 形	四型鋼	一 大 形	二 大 形	三 形	軌條	計	鋼板	區分	定尺	耳付	計
條鋼		丸角	365	—	2,221	—	450	—	—	—	—	—	—	3,036	厚板	8	—	8		
鋼		鋼	—	320	—	140	110	—	—	—	—	—	—	570	一中板	555	—	555		
平		鋼	—	495	—	530	—	—	—	—	—	—	—	1,025	二中板	705	—	705		
等	山	—	255	531	—	215	210	25	775	—	—	—	2,011	計	1,268	—	1,268			
不	山	—	—	—	85	25	85	—	225	—	—	—	420							
溝	形	—	—	—	—	255	—	1,415	310	—	—	—	1,980							
工	形	—	—	—	—	—	—	20	628	—	—	—	648							
先	計	365	1,070	2,752	755	1,055	295	1,460	1,938	—	—	—	9,690							

當所及二社中型山形鋼 12 月生産高

生産調節申合せに依る當所及日本鋼管、東海鋼業の 12 月中の生産高

は下の通りで基準數量に比し約 3,000 噸の減産である。

50m/m	65m/m	75m/m	80m/m	90m/m	100m/m	計
1,601	1,503	1,753	133	1,199	1,541	7,730

昭和 5 年 1 月中線材、薄板、鐵力板、輸入速報

區分	品名	線材			薄板		鐵力板	
		B.W.G No. 5	其他	計	下旬計	0.7 糎以下	下旬計	下旬計
神	戸	2,930	1,313	4,243		1,839	2,018	
大	阪	554	296	850		869	966	
横	濱	1,426	51	1,477		1,348	2,567	
計		4,910	1,660	6,570		4,056	5,551	

備考 神戸自 12 月 28 日至 1 月 28 日、大阪自 1 月 7 日至 28 日、横濱自 12 月 28 日至 1 月 27 日

東西市況—氣乘薄 漸く休み氣分は脱けながらも、何處も手持不沙汰の商内薄で沈滞の空氣が澎湃と漲つて居る猶眼前に總選舉など、云ふ商買を邪魔する材料もあつて一層氣乘薄と云はれて居るが下旬に入ると共に大阪の線材が 95 圓を目掛けて稍暴騰氣勢となつた事が注目されて居る。

東京市況

丸鋼。丸鋼も此處まで来ては最早下げ餘地もない様に思はれるが、氣持で動くことも一大勢力を成して居るので油断は出来ず、大店では比較的腰強い様であるが一般は風聲鶴唳の浮動物に脅かされて落ち着かぬ模様である。

角、平鋼。角は其後稍落付きと見られ、平の 2 1/2 以下は 7 圓臺の聲もあつて望少く 3'' 以上頭重ながらも保合つて居る。

型鋼。中型等山は下げ足も濫り勝ちとなり材料待ちに保合。不等山も此邊で落付くかに見られて居るが需要不振には勝てずチリ安。流石の溝形も 2x4 を除いては追々と平均されて來た、花形 2x4 も先安見越から入荷品は盛に賣急がれて居る模様である、工形の不勢不變、特に 3x6, 4x8 は 7 圓臺の呼聲さへあり益々減入つて居る。

鋼板。落潮不止、只 1.6x5x10, 3.2x4x8, 5x10 など駢りを傳へて稍波瀾を畫いて居るが厚物は益々不冴、9圓臺割れを云ふものさへある様である。

大阪市況

丸鋼。商賣の自由は大勢を導く、敢て人爲策を弄する要はない、那邊に底止するかと思はれた丸鋼も採算不利ながらも 780/800 を往來して落付いてゐる。一般的に手持品は引續き減少してゐるが然し當所貯藏の丸鋼を始め釜石、日本鋼管等の在庫品の處分の終る迄は尙反撥の氣勢は鈍いものと見られてゐる。

角、平鋼。引續き漸落歩調を改めず伸鐵界の發達は劃期的時代の接近を思はしめる。

型鋼。山形鋼は買手の巧妙は先安氣分に乘じて現在の比較的品薄も原價高も顧みられず大山形及び不等邊山形賣行不振と當所品の出廻順調に頭重し。溝形鋼 50x100 は當所品壓延作業開始の聲に賣急がれてゐるのが目立つ、又 2x4 ものは東京安の報を入れて一氣に 50—60 錢方棒下げとなつた模様で、大形ものは依然品薄に氣を持ち二、三大形軟弱。工形鋼は區々の弱保合、一時の暴落振物凄かりしもどうやら底入の觀もあるやうである。

鋼板。1.6, 2.3, 3.2 は續々と外注品の到着を見てゐる中には純困惑ものもあつて前送尙一段安を見込まれ厚板 90 圓を目標として賣られて居るが臺割現出は時期の問題とも見られて居る。尙耳附鋼板滞積の聲は一層人氣を腐らしてゐる。又薄鋼板は不需要期に入り相場低迷の域を去らず頭重の状態だと云はれてゐる。

線材。年初より相場落付き、只々入用買丈けなれ共其後の外注品入荷少く工場在庫も漸く少くなつた模様で一方に於ては神戸製鋼 1、2 月渡の安きもの及び 3 月以降の先物も賣行き好く割當に苦心しつつあるとのことにて本月 22 日頃より徐々強含みの處 24 日には遂に 85 圓となり、其後臺灣方面の 8 番線大口注文が動機となつて急騰し 28 日には 91 圓賣り 90 圓買の聲を聞くに至り製品も之に追従して昂騰したので相場も相當根強い様に見られて居る。

鐵力板。相場は著しき變動なけれ共概してジリ貧状態だと云はれてゐる。

外國爲替市中相場

區分\月日	Jan. 21	22	23	24	25	27	28	29	30	31
日 英	2/0-1/4	"	"	"	"	"	"	"	"	"
日 米	49-1/4	"	"	"	"	"	"	"	"	"
日 佛	12.50	"	"	"	"	"	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場 {東京 1月28日
大阪 1月23日

丸	鋼		角	鋼		等邊山形鋼		
	東京	大阪		東京	大阪	m/m/m/m/m	東京	大阪
6m/m	8.40	8.40	15	9.00	8.70	6x50x50	8.40	8.60
9	8.05	7.80	19	9.10	8.70	6x65x65	"	9.00
12	8.00	8.00	38	9.20	8.20	9x75x75	8.35	8.50
19	7.90	7.85				9x130x130	8.80	8.50
25	"	7.80				12x130x130	"	8.80
50	8.80	8.10				15x150x150	8.90	8.50
65	8.60	8.10						
			平			不等邊山形鋼		
			1/4'' x 1 1/2''	8.10	8.20	3/8'' x 2'' x 3''	8.50	8.60
			1/4 x 2	"	8.20	3/8 x 3 x 4	8.40	8.40
			1/4 x 3	8.30	8.40	3/8 x 3 1/2 x 5	8.50	8.80
9m/m	9.50	8.20	3/8 x 4	9.00	8.80			
12	9.20	8.30	1/2 x 4	9.70	8.60			

昭和4年12月中當所品種寸法別生産高 單位噸

寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量
棒鋼ノ部		28	137	4×3½	384	0.7 ^m /m 超鋼板		lbs	1	線材及製釘材部	
丸鋼		30	9	5×4	423	0.75 ^m /m	10	2.2	1	線材	
5.5 ^m /m		32	533	6×4	1,875	0.8	1	計	18.478	5.5 ^m /m	2,067
6	519	38	148	計	3,644	1	58	鋼板計		6	79
6.5		44	107	球山形鋼		1.2	3	綉鋼板	20.958	計	2,346
9	4,910	50	31	3''×3½''	23	1.4	18	5lbs	8	製釘材	3,272
10		120	9	計	23	1.5	151	7.5	7	6.5	124
11		130	27	溝形鋼		1.6	1,134	1.0	2	計	3,396
12	1,859	135	134	m/m		1.8	33	3 ^m /m	3	線材及製釘材合計	
13		140	2	250×90	1,861	1.85	329	3.175	13	5,742	
14		150	10	300×90	112	2	31	3.2	12	其他鋼材ノ部	
15		152	7	380×100	704	2.3	374	4.5	177	工具鋼	
16		170''	22	3½''×2''	61	2.5	27	4.7	3	153	
18		計	2,089	5×2½	720	2.6	416	5	17	普通鋼	
19		平		6×2½	245	2.9	2	6.5	51	99	
20		鋼		6×3	1,022	3	192	8	9	鍛成品	
21		7/8''	389	7×3	324	3.17	1	9	57	5	
22		1	406	8×2½	225	3.2	580	15	15	壓延品	
24		1¼	728	8×3	692	3.5	177	26	33	26	
25		1½	878	8×3½	91	3.6	6	2/8''	14	特殊鋼	
28		1¾	458	計	6.057	4	229	3/16	25	3.4	
30		2	1,851	工形鋼		4.5	2,215	¼	4	37.1	
32		2½	3	m/m		4.8	4	5/8	16	47	
34		2½	1,177	125×75	35	5	178	計	462	13	
36		3	937	200×100	300	5.156	3	硅素鋼板		15	
38		3¾	292	200×150	238	5.25	1	0.35 ^m /m		240	
40		4	358	230×100	337	6	13	0.43		128	
42		計	7,477	300×150	759	6.4	3,931	鐵力板		368	
44		半丸鋼		5'×3'	170	6.5	3	B.W.G.No.		696	
46		2''	2	14×6	507	7	72	33		685	
48		2½	2	16×6	601	8	634	31		249	
50		計	4	計	2,947	9	3,702	30		58	
55	1,081	六角鋼		Z形鋼		10	262	29		計	
60		1,006''	15	150×75×65	125	11	165	計		1,688	
65		1,096	6	計	125	12	2,304	鋼板合計		23,476	
70		1,196	9	T型鋼		13	94	軌條及附屬品ノ部		63	
80		1,296	8	3''×3''	9	14	160	軌條		24	
85		1,386	5	6×3	6	15	60	50k		87	
90		計	43	計	15	16	286	37		塊	
100		八角鋼		型鋼合計	17,845	17	9	30		110,163	
115		20 ^m /m	1	條鋼合計	41,064	18	70	30		1,236	
120		計	1	鋼板ノ部		19	194	25lbs		15	
125		等邊山形鋼		0.7 ^m /m以下鋼板		20	24	計		1,670	
130		45 ^m	323	B.W.G.No.		22	33	附屬品		113,084	
135		50	175	33	122	23	6	50k用FP		鋼片	
140		70	165	31	117	24	6	220		83,801	
145		75	188	30	1,207	25	4	688		7,654	
150		90	230	29	30	26	33	24		計	
160		130	1,700	23	162	28	4	54		91,455	
170		150	2,253	計	5,034	30	13	57		シートバー	
180		計		不等邊山形鋼		31	2	26		4,239	
200		6 ^m /m	1	m/m		32	1	114		774	
		11	3	65×50	62	38	3	軌附合計		5,013	
		12	283	125×75	876	40	4	21.276		短尺及屑鋼	
		16	224	150×100	4	45	25			1,732	
		19	203	4''×2½''	20	50	1			1,682	
		20	5	計	2,480	90	91			計	
		22	3	sheets		100	6			3,414	
		25	191	7	56	10	9				
		計		0.5 ^m /m	1	11	9				
				0.7 ^m /m	1	12	21				
				計		13	2				
						14	2				
						15	2				
						16	2				
						17	1				
						18	1				
						19	1				
						20	1				

販賣旬報 第 118 號 昭和 5 年 2 月 12 日 製鐵所販賣部

1 月の 3 港輸入

1、丸鋼はこれほど苦境に呻吟しながら輸入は中々減少しない理由は色々あるだらうが、これでは首釣の足を曳く様なものである。

昭和 2 年以降の丸鋼の輸入數量は 昭和 2 年 57,230 昭和 3 年 43,538 昭和 4 年(3 港のみ) 62,314 昭和 4 年は 3 港のみの數量であるから、全國としては此數字より餘程増加するものと思はなければならぬ。それと昭和 2, 3 年頃の内地生産と現在のそれを比較し、猶緊縮の今の世の中とを考慮に入れると現在の悲境も充分首肯出来るのではあるまいか。工形も所謂お茶人向や、シツクネスの相違等の辯疏の餘地はあるが大勢の多い事は否めぬ。

2、次の問題は鋼板(0.7 耗超)である。

3 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	4 年 1 月
2,959	3,181	2,626	2,213	2,102	1,888	3,330	2,856	2,612	2,729	2,949	4,714	4,933

下は過去 1 ケ年の 3 港輸入より造船用鋼板を除いた、市場向 0.7 耗超鋼板の數量である。舊臘 12 月と 1 月の輸入の目立つて多量なのは 9, 10 月に於ける狂相場に眩惑された結果と見る事が出来る、12 月に於ける當所積出と此輸入と需要減退の 3 者の合體したものが鋼板業者の悲鳴となつて現はれたのである。

之と反對なのは 0.7 耗以下鋼板の減少振りである内地生産數量が判然しない内は何とも分らぬがこれだけ自重が続けば如何に製品の賣行不振があるとは云へ、希望の曙光を見るのも決して遠い將來ではない様に想像される。

3、線材は輸入數量の減少により別項記載の通り漸く好轉の機運に向つたが 5 月頃に至つて逆轉せぬ様戒心の要があらう。

昭和 5 年 1 月中 3 港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品種\區分	神戸	大阪	横濱	1 月計	前月計	本年總計	昭和 4 年總計
丸鋼	1,138	712	1,479	3,329	2,167	3,329	10,716
角鋼	338	73	180	591	202	591	628
平鋼	566	2	1,289	1,857	1,537	1,857	1,465
等山	1,415	612	709	2,736	1,316	2,736	3,462
不山	573	69	160	802	330	802	257
溝形	114	113	502	729	365	729	828
工形	392	504	1,351	2,247	2,911	2,247	1,634
鋼板(0.7m/m 超)	4,380	984	1,983	7,347	6,168	7,347	3,245
〃(0.7m/m 以下)	1,728	867	1,075	3,670	4,398	3,670	11,707
鈦力	2,063	458	2,325	4,846	4,767	4,846	5,247
軌條	523	—	1,001	1,524	1,057	1,524	2,244
線材	4,075	1,257	865	6,197	7,669	6,197	11,969
シート	363	—	1,168	1,531	3,222	1,531	1,322
パイ	—	—	—	—	—	—	—
鋼管	416	1,378	1,453	3,247	5,034	3,247	624
其他	922	496	1,030	2,448	2,047	2,448	1,735
計	19,006	7,525	16,570	43,101	45,887	43,101	61,083
備考							

線材の好轉に就て一冷靜なれ 頃日大阪方面に於ける線材は昂騰氣勢となり、1 月 20 日頃迄 83 圓 50 錢の成行を眺めて吐息を洩して居たものが 3 月 5 日には 94 圓 50 錢旋りと云ふ形勢となり早天に雲霞を望む如く盛に蠢動し初めた模様である。

強氣材料の雄として數へられるものは「品薄」である、將して市中の言の如く品薄だらうか。例により内地生産品は到底市況を左右し得る力無きものとして除外し、昭和 4 年中の輸入のみに就き記して見ると次の通りである。

(3 港輸入數量)

港\月別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
神戸	8,947	11,625	5,604	10,511	13,893	14,049	10,210	8,704	5,818	8,682	7,545	5,921	111,509
大阪	3,022	2,460	3,270	2,010	3,584	3,661	3,123	2,707	2,643	1,154	2,212	1,748	31,594
横濱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,969	14,085	8,874	12,521	17,477	17,710	13,333	11,411	8,461	9,836	9,757	7,669	143,103

之を今迄の所謂線材輸入常識たる、月額輸入大阪1萬噸、東京3,000 噸に比して見る時は約 1 萬 5,000 噸位の不足となるも昭和 3 年末に於ける過剰在庫と製品の需要減退を計算に加へれば寧ろ稍重荷の感があるのではあるまいか。

然るに相場を此處までもつて來たのは製品の需要期茲に接近した事と下半期連月に亘る輸入減少の氣分も充分手傳つて猶先行手當薄を期待して居るものと思はれる、即ち未だ決して安定の域に達したとは云へないのである。只頼みとする處は此度は今迄と異なり製品の足取りが原料に添ふて好轉して來た事である。將來の盛衰は繫つて需要の程度如何と輸入數量にあるが、需要方面の事は殆んど見當付かず只市場の感想として一般經濟界の状態より推して決して増加はせぬ事だけは確實と云へよう。輸入に關しては銀の崩落に基因する輸出不振が、保稅物の内地流入を刺戟しはせぬかと云ふ恐れもあるが、それよりも此好調により現在電入の 7-10-0 近所の値段に惚れて今迄の自重を破つたならば如何なる結果を齎すだらう。將に半歳の苦心も水泡に歸し九俣の功を一簣に缺く事は誰れしも肯定する處と思ふ。然も我國鋼材界に於ける思惑の輸入の目標たりシブラック・シートは川崎造船所の奮闘により漸く影を潜めし折柄残るは此線材のみ、誠に危い哉である。

猶神戸製鋼等に於ても盛に増産の計畫あるやに聞くに於ては餘程慎重の態度を以て進むにあらざれば再び崩落の悲運に接することは火を賭るよりも明である。切に切に市場の冷靜を望むものである。

副 製 品 小 觀

1、クレオソート油近況 爲替回復による輸出値段の下這と一般經濟界の沈滞によつて引續き市況不振を稱へられて來たクレオソート油界は其後一向に見直しの模様なく各生産會社、防腐會社とも手持品の漸増に相當の苦況を傳へ前途益々軟弱氣配を豫想せられて居る。

當所クレオソート油は 12 月中旬積豫定の第 3 回輸出が在庫品の拂底に延々になつて本月初めに漸く 800 噸丈け曙光丸積として實現し斯界全般に商談氣乗薄の折柄相變らず獨り氣を吐いて居る。

月別	生産高	受渡高
11 月	962	781
12 月	384	1,030
1 月	1,446	272
計	2,792	2,083

勿論爲替關係と米國市價の軟調から多少の安値は脱れないが、爲替も既に落ち着いたしそれに強氣材料の出現を鶴首して居る 關係方面の現状を以

てすれば輸出向としてすべての條件を多分に備えて居る當所品の輸出續行は絶對的に必要であらう。

而して次回輸出は船便と在庫量不足の關係から 4 月中旬積として既に着々準備中である。

例によつて既報の 11 月以降前月迄の當所品各月生産高及び受渡高を示せば右表の如し。

2、副製品見積及定期契約期間概要

各品種に付いて斷片的に既報したものもあるが當所各副製品の見積先物契約及び定期先物契約期間は次記に限られその他のものは皆隨時契約によつて適宜各方面に賣捌いて居る。之等のものでもクレゾール及び石炭酸以外の一部數量は隨時契約によつて居る事は勿論である。

品 名	期 間	備 考
壹號クレゾール	1 ヶ月先物	各月 1 回見積發表
貳號クレゾール	同	同
貳號石炭酸	同	同
硫酸安母尼亞	3 ヶ月先物	同
純ベンゾール	自 1 ヶ月至 6 ヶ月先物	6 月末及 12 月末定期契約更改
純トルオール	同	同
モーターベンゾール	自 1 ヶ月至 2 ヶ月先物	2 月末以下各 2 ヶ月を 1 期として定期契約更改
ピツチコークス	自 1 ヶ月至 3 ヶ月先物	3 月末以下各 3 ヶ月を 1 期として定期契約更改
高爐セメント	自 4 ヶ月至 6 ヶ月先物	同
鑛 滓 煉 瓦	1 ヶ年先物	5 月末定期契約更改
鑛 滓 綿	自 1 ヶ月至 6 ヶ月先物	3 月末及 9 月末定期契約更改

海外電報 2 月 7 日在倫敦松山商務參事官來電

銑鐵稍手堅く鋼鐵需要小口に止まる極東向け輸出稍増加、鉄力堅實黑板沈靜相場何れも保合ひ造船界一般不況の内にも稍好況を呈し特にタンカー注文増加。

2 月 7 日在柏林長井商務書記官來電

鐵物輸出特に型鐵類商談弗々擡頭但し相場に影響なし國內鐵物需要不振。

昭和5年2月上旬線材、薄板、鋳力板、輸入速報

區分\品名	線材			薄板	鋳力板
	B.W.G.No.5	其他	計	0.7 耗以下	
神戸	1,765	353	2,118	572	560
大阪	—	—	—	337	80
横濱	100	—	100	478	1,014
計	1,865	353	2,218	1,387	1,654

備考 自1月28日至2月7日

東西市況——一段と悪化（7日誌す）月が改まると共に鋼材全般に亘り不況は一段と深刻になつて來たが特に丸鋼を中心として厭な氣流が渦巻き初めた様に感ぜられる。前途に對し何等好材料を持たぬ市場は兎角悲觀に傾むき易く、其に色々な流言飛語が織り交ぜられて益々氣分を悪くして居る模様である。其上 2, 3 月は警戒月とて金融も益々窮屈になつて來るに連れ弗々厭氣投げもあつて一段と悪化を助長して居ると云はれて居る。只線材は例外的に擡頭し、薄板も東西稍氣を好くして居る。

東京市況

丸鋼。丸鋼は正に受難時代に入つた。前旬までは悪いとは云ふものゝ未だ一縷の望がないではなかつたが、臺割れ以來崩れ足となり遂にベース 7 圓 75 錢と云ふ未曾有の安價を見るに到り前途も猶暗澹として、捕捉することが出來ぬ状態となつた。事此處に至るには雑多の原因もあらうが要するにメーカーの保有する在庫品が胸につかへて不安を感ずると、實需家筋が押目待に買氣付かぬのが主要なるものと見られて居る。

角、平鋼。丸鋼の崩れ足と大阪安に押されて角、平共に一段安。

型鋼。中型等山は比較的荷動きよく他に比し氣配も好いと見られて居る。大型及び不等山未だ落ち付かず、其内でも 3½×5 は鋼管物も愈々市場に現はれて來て軟調。溝形峠を越してよりの落調急である。特に 2×4 は當所品積出の報に一気に賣り崩されて月末物 10 圓 50 錢を呼ばれるに至つた。工形の下げ足止まず其中でも 3×6, 4×8 の急落が目立つて居る、5×10 の時物も一段安となつた。

鋼板。内外の入荷に脅かされ 16×4×8, 23×5×10 が稍踏み止まつて居る外は益々下押氣味となつた。原板は行く處まで行つた感があり、輸入も激減した爲大阪の手堅いのに連れ東京も氣配稍好調。

大阪市況

丸鋼。全くの固定状態で買氣更になく人氣を腐らし當分恢復の見込みはないと云はれて居る。

角、平鋼。伸鐵物も買手の指値次第の有様となり、弱含保合。

型鋼。在庫は多少減少したが、中形等邊物は鋼管物入荷の報に弱く、不等邊物は變らざるも ¼×2½×3 は 9 圓 30 錢を稱へ、時折品薄品も出來て來るらしいが大體安値保合、溝形鋼は愈々下げ足に轉じ、2×4 も 7 月以降積運品の入荷の聲に先弱、工形不變。

鋼板。1.6, 2.3, 3.2 も大抵底入れらしい。厚板は淺野の關西ダンペンクの報に悪化しかけたが是は沙汰止みらしく 9 圓處で落付くものと見られて居る。薄板はロッド硬化に多少持直したが尙採算取れず頭打ちの状態では有るが在庫薄の氣構へに多少の高値を見る。浪板、原板は入荷品高値の爲相當な値段を唱へて居る。

線材、2月5日呼値 90 圓。

先月末より在庫漸く少く尙又入荷薄の見込にて相場上騰し一擧 90 圓に引上げ其儘落着いて居る。

鋳力板。漸落歩調。一兩月中に回復の見込みはないらしい。

外國爲替市中相場

區分\月日	Jan. 31	Feb. 1	3	4	5	6	7	8	10
日 英	2/0-¼	"	"	"	"	"	"	"	"
日 米	49-¼	"	"	"	"	"	"	"	"
日 佛	12.50	"	"	"	"	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場 (東京 2月5日 大阪 2月6日)

丸	鋼		等邊山形鋼				工形鋼				
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪			
6 ^{m/m}	8-30	8-30	9×75×75	8-30	8-50	0-36''×5''×10''	8-50	9-80			
9	7-95	7-95	9×130×130	8-70	8-40	鋼板					
12	7-90	8-05	12×130×130	8.60	8-50	1-6×3''×6 ^{m/m}	10-70	10-80			
19	7-75	7-95	15×150×150	8-70	8-80	1-6×4×8	11-00	10-40			
25	〃	〃				3-2×4×8	9-50	9-30			
50	8-60	8-20	不等邊山形鋼				3-2×5×10	11-00	10-40		
65	8-50	〃	3/8''×2''×3''	8-50	8-20	6-0×4×8	9-00	9-00			
角	鋼	東京	大阪	3/8×3×4	8-40	8-30	6-0×5×10	〃	〃		
				3/8×3 1/2×5	8-50	8-40	9-0×4×8	9-30	〃		
				3/8×4×6	8-60	〃	9-0×5×10	〃	〃		
				1/2×4×6	〃	〃					
平	鋼	東京	大阪	溝形鋼				薄鋼板(13枚)			
				1/4''×2''×4''	12-00	11-00	米	62.5	63-00		
				0-312×2 1/2×5	10-10	9-40	英	62	61-75		
				3/8×3×6	10-00	〃	八幡	62	61-75		
				3/8×3×8	9-00	8-70	鉄力板				
〃	〃	〃	〃	3/8×3 1/2×10	8-90	8-80	米	{170lbs 22-20 21-80			
				3/8×3 1/2×12	〃	8-70	{100 12-50 12-00				
							英	{170 20-70 19-90			
							{100 11-50 11-00				
							{170 21-20 21-20				
等邊山形鋼				1/4''×3''×6''	8-00	8-00	八幡	{100 11-50 11-50			
m/m/m/m/m				3/8×6×12	8-50	8-30	線材				
6×50×50				0-28×4×8	8-00	〃	No. 5# 95 90-00				
6×65×65				0-35×5×12	8-50	8-50					

備考 單位 100 疋につき(置場渡値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 疋當り。鉄力板は 1 箱當り。

11, 12 月 渡 定期 先物 積 遲 數量 表

寸法	數量	寸法	數量	寸法	數量	寸法	數量	寸法	數量	寸法	數量
棒鋼ノ部		平鋼		型鋼ノ部		溝形鋼		工形鋼		鋼板ノ部	
丸鋼	1 1/4''	4	等邊山形鋼	5''×2 1/2''	108	6''×3''	206	鋼板			
50 ^{m/m}	20	2 1/2	45 ^{m/m}	280	6×2 1/2	28	8×4	2	1-6 ^{m/m}	111	
計	20	3	65	591	6×3	742	18×7	170	2-3	43	
角鋼	3 1/2	14	75	83	7×3	147	20×7 1/2	46	3-2	278	
25 ^{m/m}	52	3 5/8	計	960	8×3	340	m/m/m/m		9	19	
44	76	4	不等邊山形鋼		m/m/m/m		250×125	101	鋼板計	451	
65	64	計	100×75	140	75×40	245	計	525	合計	5,633	
75	161	棒鋼計	125×90	23	100×50	988	型鋼計	4,266			
計	353	916	6''×4''	21	計	1,598					
			計	183							

備考 中小型及鋼板は 1 月 25 日として 12, 1 月 渡をも含む大型は 1 月 30 日調。

昭和 5 年 4 月 渡 定期 先物 品種 寸法 別 數量 表 (單位 疋)

寸法	數量	寸法	數量	寸法	數量	寸法	數量	寸法	數量	寸法	數量	寸法	數量	
丸鋼	65	98	16	79	合計	711	50	102	45	127	125×75	95		
	70	55	19	55			65	123	50	482	125×90	85		
	75	88	25	77	平鋼		75	212	65	243	合計	798		
	80	45	32	102	3 5/8''	180	90	147	75	235	2 1/2''×2''	20		
	88	51	38	98	19 ^{m/m}	85	100	99	90	25	6×3 1/2	105		
	90	28	44	74	22	62	合計	1,372	100	71	6×4	276		
	95	53	50	51	25	151	棒鋼合計	5,521	130	465	m/m/m/m	5''×2 1/2''	546	
	100	53	65	27	32	103	等邊山形鋼		150	566	75×50	90	6×3	696
	合計	3,438	75	48	38	67	m/m		200	100	75×65	90	7×3	213
	角鋼	12 ^{m/m}	47	90	53	44	41	40	268	合計	2,582	100×75	37	7×3 1/2

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	
8×2½	40	230×80	246	工形鋼	18×7	70	200×100	35	鋼板	6	115	鋼板	8	36		
8×3	135	230×90	60		20×7½	70	200×150	45		8	36		9	42	9	42
8×3½	55	250×90	186		6''×3''	20	24×7½	30		230×100	65		12	10	12	10
m/m	m/m	300×90	175		6×5	40	m/m	m/m		250×125	195		1.6m/m	689	1.6m/m	689
75×40	70	380×100	35	14×6	55	100×75	5	300×150	223	2.3	263	2.3	263	3.2	970	
100×50	280	合計	3,422	16×6	50	125×75	55	合計	958	4.5	247	合計	2,372	合計	15,653	
										型鋼合計		7,760				
										條鋼合計		13,281				

備考 累計は昭和5年4月渡よりとす。

昭和5年1月分契約高

品 種	區 分	官廳小計		民間小計		1月中合計			本年度累計		
		噸數	金額	噸數	金額	噸數	金額	噸當	噸數	金額	噸當
大	條	174	21,099	5,827	493,750	6,001	514,849	85.79	86,915	8,126,722	93.50
中	條	92	13,282	3,110	257,986	3,202	271,268	84.72	57,426	5,429,861	94.55
小	條	212	29,241	4,599	389,929	4,811	419,170	87.13	78,492	7,304,894	93.07
鋼	板	531	84,938	11,873	1,076,525	12,404	1,161,463	93.04	108,583	11,744,847	108.16
重軌條及附屬品		773	82,653	31,564	2,992,515	32,337	3,075,168	95.10	211,409	21,163,434	100.11
輕軌條及附屬品		190	21,760	1,956	157,543	2,146	179,303	83.55	13,014	1,250,759	96.11
線	材	—	—	5,877	493,043	5,877	493,043	83.86	49,101	4,453,812	90.71
黑板、硅素鋼板、鋰力板		9	2,970	3,814	737,999	3,823	740,969	193.82	42,692	8,389,019	196.50
車軸、外輪、鍛成品		1	332	28	5,952	29	6,284	216.09	5,634	1,439,144	255.44
工具鋼、特殊鋼		4	—	1,128	101,772	1,128	101,772	90.22	2,537	275,147	108.45
其他鋼材		87	9,322	3	1,829	90	11,151	123.00	3,560	307,336	86.33
鋼材小計		2,069	265,597	79,779	6,708,843	71,848	6,974,440	97.07	659,363	69,884,975	105.09
鋼片、鋼塊、シートバー		—	—	—	—	—	—	—	72,984	5,087,997	69.71
以上計		2,069	265,597	79,779	6,708,843	71,848	6,974,440	97.07	732,347	74,972,972	102.87
短尺及屑鋼		71	4,746	3,641	233,420	3,712	238,166	64.16	49,280	3,510,821	71.24
以上計		2,140	270,343	73,420	6,942,263	75,560	7,212,606	95.46	781,627	78,483,793	100.41
副製 品			7,947		488,562		496,509			5,011,471	

備考 鋼片、鋼塊、シートバー契約高中には10月、11月契約高をも1部含む。

昭和4年12月中國別輸入數量表 單位噸

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本年累計	昭和3年 總計
條及 竿鐵 (丸、角、平形にして 徑又は幅15mm/m を超えざるもの)	387	36	666	118	52		113	2				1374	37,032	23,145
〃 (丸、角、平の もの其他)	270	352	1,763	522	168	25	40	12			7	3,159	48,600	37,088
〃 (テ ア ン グ ル 形 及 其 他)	1,578	112	1,513	440		25		23				3,691	43,367	33,673
〃 (其 他)	26	1,236	3,073	565	8			1,712				6,620	61,740	45,692
レ フ イ ツ シ ユ ト	40	96	1,566					10				1,712	33,484	45,453
ワイ ヤー (巻 きた る もの 其他)		3	49									52	1,440	2,188
ワイ ヤー (巻 きた る もの 其他)			2									2	196	2,429
ワイ ヤー (巻 きた る もの 其他)	1,305	619	6,832	659	106		256	525				10,302	157,278	170,215
鐵 板 (金 屬 を 鍍 せ ざる もの に して 厚 0.7mm/m を超 え ざる もの 其他)	151		51				12	598				812	10,248	9,706
〃 (金 屬 を 鍍 せ ざる もの に して 厚 0.7mm/m を超 え ざる もの 其他)	3,069		556					265			1	3,891	79,834	183,468
〃 (金 屬 を 鍍 せ ざる もの に して 厚 3mm/m を超 え ざる もの 其他)	44	281	402	427	6		43	643	10			1,846	18,605	19,247
〃 (金 屬 を 鍍 せ ざる もの 其他)	928	260	4,444	1,027	26	51	2	170				6,918	59,873	58,403
〃 (錫 鍍 した る もの 其他)	4,085		4					5,081			127	9,297	81,564	72,113
〃 (亞 鉛 鍍 した る 者)	11		20	20				81			80	212	2,091	1,780
〃 (其 他 卑 金 屬 を 鍍 した る もの 其他)	15		59	27			3	36				140	11,200	987
鐵 線	50		20	15	2		8	101				196	3,162	8,485
リ ー ド ・ ワイ ヤー	4	1										5	49	126
鐵 リ ホ ン	116	10	120				57	9				312	5,354	4,769
帶 (箍 鐵)	69	281	2,205	1,515				57			21	4,148	53,493	30,231
パ ラ ゴ ン ・ ワイ ヤー	16											16	152	196
線 索	21		1									23	439	558
擦 合 線	2							1				2	66	64
パ ー ブ ド ・ ツイ ス ト ・ ワイ ヤー							2							457
鐵 筒 及 管	191	613	2,385	319				967				4,477	63,049	53,859
特 殊 鋼 (稅 表 一)													1,500	1,489
〃 (稅 表 二)													807	1,296
鐵 道 車 輛 用 軸								45				45	910	918
鐵 道 車 輛 用 タイ ヤ ー			8									8	1,835	1,230
鐵 道 車 輛 用 ア リ ケ													1	4
合 計	12,378	3,900	25,739	5,654	368	101	536	10,338	10		236	59,260	777,369	809,271
フ ェ ロ ・ マ ン ガ ニ ー ス	142						6					148	2,467	2,177
フ ェ ロ シ ル コ ン 及 シ リ コ ス													396	1,301
其 他 の 不 可 成 鐵 合 金			16	30			21					67	344	290
シ ー ト バ ー (テ イ ン バ ー を 含 む)		1,921	1,337					3,595			674	7,518	131,226	73,401
イ ン ゴ ウ ト ・ プ ル ム ・ ピ レ ッ ト 及 ス ラ ッ プ	64	233	980	105	3	312						1,697	34,241	15,832
ケ ツ グ ス ス チ ー ル 及 パ ン プ ス チ ー ル							77					77	828	679
其 他 の 塊 及 錠 鐵													5	131
合 計	206	2,145	2,333	135	3	312	104	3,595			674	9,507	169,507	93,811
鉄 屑 及 故 鐵	152	1,053		305	505	3		19,464	15,184	20,700	7,050	43,991	654,055	569,215
									388	15,073	6,389	44,427	496,454	367,208